

広報 しろいし

□白石市のホームページ <http://www.city.shiroishi.miyagi.jp/>

2011

2

平成23年2月1日発行

晴れやかに

はたち
二十歳の門出

特集

地域ぐるみで守る
～自主防災～

平成22年度成人式

1月9日、二十歳の門出を祝う「成人式」を中央公民館で開催。晴れ着姿に身を包んだ新成人が、友人との再会を喜び合うとともに、大人への第一歩を踏み出しました。

写真は、実行委員を務めた佐藤香理さん（大鷹沢大町）。佐藤さんは、「成人を迎えられたのは支えてくれるたくさんの方々がいから。感謝の気持ちを忘れず、今まで以上に自分の行動に責任を持って何事にも取り組みたいです」と話してくれました。（11ページに関連記事掲載）

地域ぐるみで守る

宮城県沖地震の発生確率が高まる中、多くの自主防災組織が結成されています。各自主防災組織では、「自分の地域は自分で守る」を合言葉に、さまざまな取り組みを行っています。

自主防災

昨年10月24日、白石第二小学校の体育館で開催した自主防災組織リーダー養成研修会の普通救命講習で、心臓マッサージを行う参加者たち

■宮城県沖地震への備え

平成17年1月に、宮城県沖地震は今後30年以内に99%の確率で発生すると、政府地震調査研究推進本部が発表して以来、6年が過ぎました。

前回、昭和53年6月12日に発生した宮城県沖地震から33年が過ぎ、平均周期37年に残り4年となった今、大地震に備え地域ぐるみで守ることが急がれます。

■自主防災組織の果たす役割

自主防災組織は、大災害発生時の地域の消火・救助活動だけでなく、広報やインターネットを通じて提供される地域のリスク情報や、災害発生時の対応に関する行政情報を、各戸にきめ細かく伝えていく役割もあります。

平成22年4月1日現在では、全国1,750市区町村のうち1,621市区町村で14万2,759の自主防災組織が設置されており、結成率は74・4%となっています。

本市は、113自治会中、84自治会が結成。結成率は74・3%と、全国とほぼ同程度となっています。

そして、自主防災組織は防災

活動だけを行うのではなく、地域のコミュニティとして地域のさまざまな活動と防災活動を組み合わせるなど、普段からの地域での活動や消防団などの連携が、防災活動にとって重要な要素となっています。

■阪神・淡路大震災の教訓

阪神・淡路大震災教訓集（国際防災研修センター、阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター発行）によると、阪神・淡路大震災では、多くの人々が倒壊した家屋の下敷きになりました。一刻も早い救助が必要となる中で、救助活動に当たったのは、地域住民でした。

また、地震直後から各所で火災が同時に発生し、そのすべての火災を消防隊が消火することは不可能でした。このとき、消火活動に当たったのも地域住民や地元企業であり、見事、延焼を食い止めたという事例があります。

災害発生直後は、消防や行政の公助は期待できず、地域住民が協力しながら立ち回って行動できることが重要になっていきます。そして、地域住民の一人一人ができることから実践していくためにも、自主防災組織は必要なのです。

police chief

本署では、災害が発生した際の各署員の任務を明らかにしています。また、研修や訓練を通じて、どのような災害が発生しても迅速な対応がとれるように備えています。昨年7月15日には、県内24警察署で初となる「白石警察署バイクパトロール隊」を発足させ、地震などで道路が寸断された場合、この隊を投入し被害状況の確認を迅速に行うことにしています。

大規模な災害が発生した場合、被害の全体像を把握するまでには相当の時間が必要となります。このとき、自主防災組織がしっかりと機能し、地域の方々がお互いに助け合うことができれば、被害の様子をいち早く知ることができ、救助や救援の部隊をいち早く投入することができます。

また被災地では、空き巣などの盗難被害の発生も予想されますので、自主防災組織による防犯パトロールなども非常に重要な活動です。

災害が発生した場合、警察署としては全力を尽くして、避難誘導や人命救助、交通の確保や災害情報の収集、犯罪の予防・取締りなどを行います。宮城県沖地震などの大規模災害に備え、自主防災組織と地域の交番所員・駐在所員が合同で防災訓練を行うなど、日ごろからお互いに連携していくことが、災害を減災することになると思います。白石市すべての自治会が、自主防災組織を結成されることに期待しています。



白石警察署 佐藤 正孝 署長



白石市消防団 阿部 敏 団長

fire captain

被害を最小限度に食い止めるためには、公共機関による救助・支援などの公助と、自主防災組織など、地域住民の助け合いである共助、そして自らの身を守る自助の連携が必要です。

消防署は、火災の被害を最小限に食い止めるとともに、救助・救急活動で1人でも多くの人命を助けることが最大の使命ですが、阪神・淡路大震災では、防災のために一番機能したのは地域住民でした。実際、倒壊家屋からの救出は消防機関によるものは数割に過ぎず、近隣住民によって救出された割合は9割を超えていました。

このように、地域住民による防災活動こそが、非常時において最大の効果を発揮することは明らかです。

大規模な災害が発生したときなどは、小グループや個人個人がバラバラに防災活動をして、地域全体としての効果は期待できません。災害による被害を最小限にし、いち早く立ち直るためには、地域ぐるみの協力体制が不可欠です。

地域の自主防災活動が、市民一人一人の防災意識を高め、防災訓練に進んで参加することで、防災行動力を高めることになればと期待します。「自分たちの地域は、自分たちで守る」という強い連帯意識を持って、避難訓練や初期消火訓練などに積極的に参加し、「災害に強いまちづくり」を目指しましょう。



白石消防署 やしま 正寛 署長

自主防災組織 防災訓練で自ら学ぶ

本市では、平成21年度から自主防災組織が自主的に訓練や研修会を行うときに、2万円を上限に運営補助金を交付しています。

本年度も、多くの組織で補助金の交付を受けて訓練を実施しています。その中から、いくつかの自主防災組織の取り組みをリポートしました。

小原冷清水自治会自主防災会



▲火災防ぎょ訓練で、指導に当たった白石消防署の松井警防係長の説明を熱心に聞く自主防災会の皆さん

昨年8月1日、平成19年2月に設立以来、初めての防災訓練を行いました。

昨年、団員の不足から同地区の消防団が解散。また、本来であれば消防団の解散により返却しなければならぬ小型消防ポンプとポンプ置き場を、市から無償譲渡を受け、従来通り使用できることになりました。このようなことから、あらためて地区住民の防災意識を高め、全員で防災技術を習得しようと、今回の訓練が実施されました。

訓練は、各班の安否確認（出席人員報告）から始まり、婦人防火クラブによる初期消火訓練、防火水槽と消防ポンプを利用した火災防ぎょ訓練、炊き出し訓練などが行われました。

火災防ぎょ訓練では、消防ポンプを防火水槽に運ぶところからスタート。同自治会には元消防団員が大勢いるので、訓練は

スムーズに進行しました。それと同時に、「男性は経験があるが、女性には使用などの知識がない」、また、「重いポンプを女性が運び使用できるか」など、万が一、女性しか現場にいないかたときなどの不安や解決策などを話し合いました。

訓練後、参加した皆さんは、「自分の身を守るためには、確実に基本を身に付けることが大事」「自主防災として活動したときに人が出た場合、補償はどうなるのか？自治会として保険をかけるべきではないか？」など活発な意見が出されました。そして最後に、参加した皆さんでバーベキューを楽しみ親ほくを図りました。自主防災のもうひとつの目的は、「地域のコミュニケーションの向上」にあります。同自治会においても、「自治会全員が参加するようなイベントは今回が初めて」と話すほど、地域のつながりがいつの間にか薄れてきていたのかもしれない。

今回の訓練が地域を守る第一歩となり、地域の人と人をつなぐ第一歩になることでしょう。

大鷹沢第5自治会自主防災会

10月31日、54戸のほぼ全戸から61人が参加。避難経路を確認しながらの避難訓練が始まりました。消防団は積載車で地区内をパトロール。一人暮らし高齢者の安全確認のほか、婦人防火クラブの皆さんによる炊き出し訓練では、作業の手順を会員全員で確認しました。



▲避難場所の集会所に参加者が集合

菊地光男自治会長は、「隣近所のつきあいが防災につながると思います。この地域は住宅が点在しているので、今回のような訓練を通して、普段集まらない人々が一堂に会することができ、防災について話し合うことができます。次は、簡易リヤカーでの要援護者、救護者の搬送を実施したいです」と、訓練の意義を話してくれました。

大平地区自主防災連合会

10月31日、宮城県沖地震を想定して、避難訓練を実施しました。270人を超える住民が各地区の集会所に集結し、各避難ルートを確認しながら大平公民館に避難しました。

その後、消防署員の指導で心肺蘇生法の講習会が開催され、約90人が参加しました。

自治会連合会大平支部長の犬野四郎さんは、「宮城県沖地震を意識して、多くの住民が参加してくれました。台風で薪を使った炊き出し訓練ができなかったのは、大変残念です。来年は、リヤカーを購入する予定で、寝たきりや高齢者などの要援護者の避難訓練を取り入れたいと考えています」と、次回の訓練の構想を話してくれました。



▲訓練を運営した各地区自主防災会の会長（自治会長）の皆さん

越河地域振興会自主防災連合会



8月5日、越河公民館で越河地域振興会自主防災連合会の図上訓練が行われました。

昨年の夏は、歴史に残る猛暑となり、この日の会場の室温は夜になっても一向に下がらず、集まった皆さんは大粒の汗を流しながら訓練を行いました。

訓練は、過去の被害を地図上に示しながら、婦人防火クラブ

や消防団の皆さんが、各地区の役割や災害の形態によって避難経路が変わることなどを、大きな地図を使って行いました。

今回の訓練では、越河地区の各種団体の代表者も訓練に参加し、自主防災組織との連携を確認していました。大災害では、多くの組織との連携が非常に重要となります。

自主防災連合会長

二瓶 晃一さん



参加者全員が集まっていただけ、大成功でした。災害時の対応マニュアルが出来上がったことはとても良かったと思います。

地域振興会防災・福祉部長

遠藤 孝さん



それぞれの状況において、各自主防災会や協力団体が思いを新たにすることで、防災活動あるいは訓練に役立てられるのではないかと思います。

訓練の目的は、各自主防災会の対応要領と各協力団体との連携要領を確認し、災害時にはスムーズな対応ができるようにしたいということです。

婦人防火クラブ越河支部長

遠藤 和江さん



自主防災組織連合会が白石で初めてできた地区であり、常日ごろの意識が高いことをあらためて感じました。婦人防火クラブでは、地区の高齢者の皆さんを援護することについて、常に心掛けています。

白石市消防団越河分団長

大浪 國男さん



消防団は、災害時には幹部が公民館に集結し、各班による巡回、報告を受けるようにしています。

今後も、常に予消防防の徹底を念頭において、巡回活動を密にしていきたいと思っています。

仙台市青葉区

川平団地町内会自主防災会 に学ぶ



▲平成23年1月1日の川平団地町内会。2年前から、毎月1日を「防災の日」と決めて、町内に約127本ののぼり旗を掲げ、住民の防災意識を高める活動を実施しています。また、昨年4月からは、15台ある防災無線機の通話試験も実施しています。「防災に正月なし!」と言ったところでしょうか。

町内会イコール自主防災会

仙台市青葉区の川平団地町内会は、仙台市の中心部から北西に約5^キ、仙台北環状線沿いの泉区と接する地域にあります。仙台市中心部に近いこの地域を、昭和51年から宅地造成を行い、昭和54年8月に48世帯で町内会を結成しました。仙台市中心部に近いベッタウンである川平団地町内会は、会員数1,358世帯。町内会組織と自主防災組織を同じ会員で構成し、「川平団地町内会自主防災会」として、仙台市で模



県内の自主防災組織結成状況

平成22年版消防白書（消防庁）によると、35市町村で770,537世帯が自主防災組織に加入しており、結成率は85.0^{パーセント}となっています。

範となる活発な活動を行っています。仙台市のベッタウンとして出発した地域ですが、30年が経過した今、少子高齢化が進んでいる地域でもあります。こうした状況の中、5年後、10年後の地域のために、防災対策をしっかりとしなければならぬと考え、平成21年度から仙台市のモデル事業にも取り組んでいます。この川平団地町内会自主防災会の取り組みを、同町内会の高島新副会長に話を伺いました。

自主防災会は昭和56年結成

川平団地町内会自主防災会は、昭和53年6月12日に発生した宮城県沖地震の3年後に結成しました。当時、仙台市では町内会を母体とした自主防災組織化の市民運動を展開し、組織化した町内会には担架や救急箱、パールなどの防災資材が仙台市から支給されるため、防災計画と規約を作り結成した町内会が多かったと聞いています。

昭和56年2月に結成したときは、町内会の会則に自主防災組

実践できる組織を目指して

組織が盛り込まれておらず、また、誰が何をするのか分からない状態でした。活動と言えば、たまに消防署の指導で講習会程度のもを行っていることぐらいであったと聞いています。

平成7年1月の阪神・淡路大震災の発生後、町内会の中で自主防災の大切さが高まってきま

した。また、平成17年1月に、宮城県沖地震は今後30年以内に

99^{パーセント}の確率で発生すると、政府地震調査研究推進本部が発表したことで、意識はさらに加速されました。

自主防災組織を町内会と直結したものとするため、平成17年度の町内会総会で検討委員会を設置しました。7人のメンバーで約3年を費やして、平成20年の町内会総会で、実践できる自主防災組織へと生まれ変わりました。

しかし、苦労したのはその後の具体的な年間活動計画と実施内容の策定でした。

「防災の日」の設定をはじめ、防災ニュースの発行、防災教室の開催、要援護者の支援、防災マニュアルの作成、災害時の初動対応方法および防災訓練の実施など、数多くの検討項目があったため、企画委員会を設置し検討に入りました。

この中で、新しい防災資材をそろえることが大きな課題となりました。結成時に仙台市から支給された防災資材は老朽化が激しく、今後の活動のためには絶対必要なものでした。

幸い、公共下水道の整備が完了し、今まであった下水組合が解散、その分配金を基金として、その一部を取り崩して資材をそろえることができました。

新たな取り組みへの挑戦

各世帯に配布する防災マニュアルを作成しているとき、災害時の情報連絡体制をはじめ避難所の開設・運営方法、ごみ処理などの環境衛生、地域防犯や災害ボランティアの対応など、私たちの地区と仙台市地域防災計画の連携体制が明確になっていないことに気付きました。

仙台市に提案したところモデル事業として採択され、昨年4月25日に川平学区内の6つの町内会をはじめ小中学校、病院、福祉施設などにより「川平地区防災対策連絡協議会」を設立しました。5月から12月まで毎月1回、応急、避難所、地域の3部門に分かれ、検討を重ねてきました。

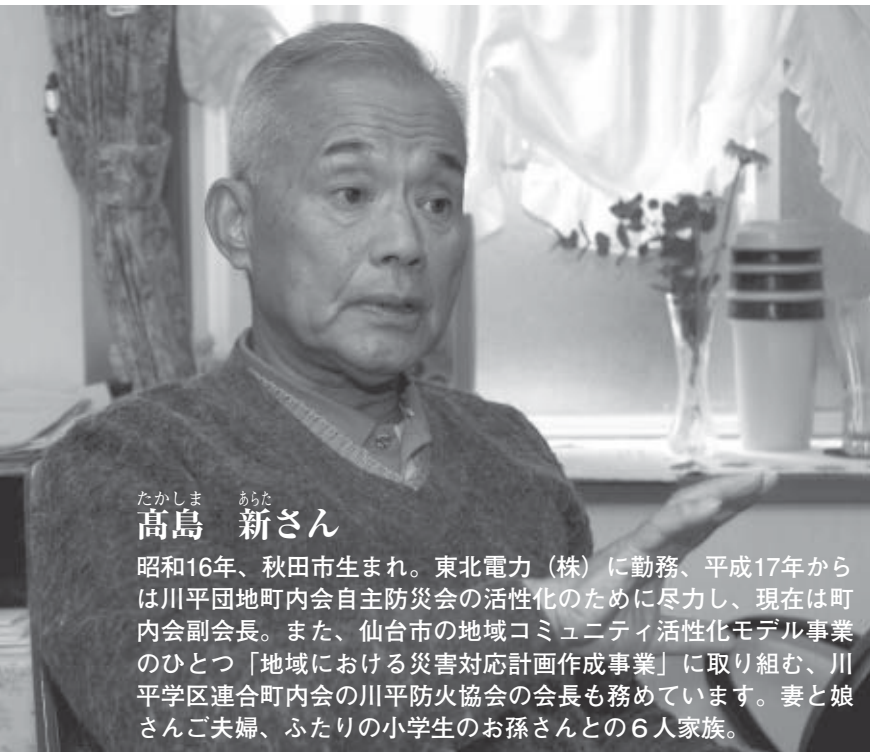
ようやく、12月の専門部会で、その災害対応計画案が集約できました。この計画案に、さらに多くの住民の意見を反映させるため「ワークショップ」を開催し、最終案を4月開催予定の協議会総会に提案するまでこぎ着けることができました。

継続にはリーダーが絶対必要

自主防災組織で一番大切なことは、「防災リーダーの育成」だと実感しました。若い皆さんは、仕事で忙しく中心的な役割を果たすことは、非常に難しい状況です。私は60歳から70歳までの健康な皆さんに、将来の地域と子孫のために一頑張りしてほしいとお願いしています。

災害はどのような被害が発生するのかわかりません。川平地区は、昭和53年の宮城県沖地震で大きな被害がなかったため、地域防災に対する活動への理解がなかなか得られませんでした。自主防災組織化により、日ごろからの一人一人の備えや、向かう強い意志と行動があれば、被害を最小限度にとどめることは十分可能であるとの認識が日増しに高まってきました。さらに、この認識をモデル事業が後押ししてくれているように喜んでいきます。

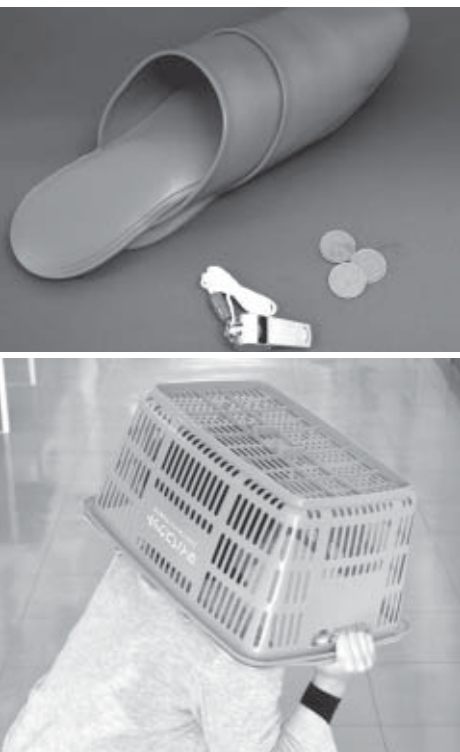
行政と連携がとれた災害対応計画づくりを契機として、今パラボラに行っている町内会の自主防災活動を金太郎館のように統一していくことが、私の願いです。



たかしま あらい
高島 新さん

昭和16年、秋田市生まれ。東北電力（株）に勤務、平成17年からは川平団地町内会自主防災会の活性化のために尽力し、現在は町内会副会長。また、仙台市の地域コミュニティ活性化モデル事業のひとつ「地域における災害対応計画作成事業」に取り組む、川平学区連合町内会の川平防火協会の会長も務めています。妻と娘さんご夫婦、ふたりの小学生のお孫さんとの6人家族。





皆さんも、災害に備えてさまざまな物を準備していると思います。阪神・淡路大震災のとき、約35,000人ものが生き埋めとなり、動けない状態となりました。

そんなときに役立つものは「笛」です。助けを呼ぶ大きな声はいつまでも続きます。また、生き埋めの状況によっては、声を出せない場合もあります。そんなとき、笛は所在を知らせる大切なものとなるのです。

また、避難するときに割れたガラスで足をけがしないように、「スリッパ」なども役に立ちます。「10円玉」は、携帯電

話が使えず公衆電話を使うときに役に立ちます。皆さんの備えの中に、ぜひ加えてください。

次に、スーパーマーケットで地震が発生したときは、「買い物カゴ」を頭にかぶってその場へうすぐまわってください。買い物カゴは強度があり、頭を守ってくれます。

さらに、一時的に避難する場所の一つとして、「ガソリンスタンド」があります。阪神・淡路大震災のとき、ガソリンスタンドで焼け止まりになったというところもあります。ガソリンスタンドは、火にも地震にも強く設計され建てられています。

あなたは知っていましたか？

自主防災組織リーダー養成研修会の中で、さまざまな話を伺いました。防災士である仙南消防本部の消防士、中沢玄さんの話の中に、10「知ってよかった」クイズがありました。当たり前の問題もありましたが、「なるほど」とあらためて知ることもありました。このクイズの中から、いくつかをご紹介します。

伝言ダイヤル

自主防災組織リーダー養成研修会では、NTT東日本宮城支店より設備部災害対策室長の山谷哲美さんを招き、災害時の情報通信についての話も伺っています。

その話の一つに、災害用伝言ダイヤル「171」があります。災害が発生すると、被災地に安否を確認する電話が集中するため、電話がつながりにくくなります。そんなとき大いに役に立つのが、NTT東日本の災害用伝言ダイヤルです。

まず、「171」をダイヤルし、録音は「1」、再生は「2」を押します。

次に、「被災地の方はご自宅の電話番号を、被災地外の方は被災地の方の電話番号を、市外局番からダイヤルしてください」という音声ガイダンスに従って、録音および再生を行います。

なお、毎月1日・15日のほか、1月1日～3日、防災週間などにおいて、体験利用ができますので、皆さん、ぜひ体験してみたいかがでしうか。

詳しくは、NTT東日本（0120-980-430）までお問い合わせください。



自主防災組織リーダー養成研修会で学ぶ 一番大切なことは、人材を育てること

10月24日、白石第二小学校を会場に、自主防災組織リーダー養成研修会を開催しました。

本年度で4年目となるリーダー養成研修会には、65の自主防災組織から69人の皆さんが参加しました。

この研修会は9時30分から1時間の昼食を挟んで16時までの長丁場。それでも、参加した皆さんは熱心に講師の話に耳を傾けていました。

本市では、一組織5人のリーダーを養成するという目標を掲げています。

■上原自治会自主防災会
石川 照代さん



何度か防災研修を受講しましたが、丸一日は長いと感じました。それでも今回の研修は、大変になりました。

ただ、実際に災害が発生したときに、この研修がどの程度役に立つのかが心配です。回を重ねて身に付けることが、これらの防災のために大切であると思います。

■大平5区自治会自主防災会
佐久間義昭さん



AEDには触ったことがありませんでした。今回講習を受けたことで、急に倒れた人を助けられる自信ができました。

地域の役員として活動していますが、宮城県沖地震に備えてさらに意識を高めていきたいと思っています。

■西益岡地区自主防災会
齋藤 安男さん



近い将来、必ず発生すると言われて、宮城県沖地震に備えて、今日一日とても勉強になりました。

自治会での集まりがあるたびに、防災について話し合いをもち、1人でも多くの人に伝えていきたいです。

■おわりに、防災と減災

近い将来、必ず起きると言われる宮城県沖地震。この地震に備え、宮城県内はもちろん、近隣の地域でも自主防災組織の結成を進めています。

また、何年か前のテレビドラマなどでも、大都市を大地震が襲ったという想定で、病院を舞台に大規模災害の恐ろしさを伝えていきます。

さらには、世界各地で大地震が発生し、大きな被害をもたらしています。

行政が行う災害に対する備えは、避難場所となる学校や公共施設の耐震化や、消防設備や救助機材の購入など、災害が発生したときに、被害を最小限度に防ぐ「防災」対策です。

それに対して、自主防災組織が行う活動は、災害が発生したときに被災者を1人でも減らす「減災」が目的となっています。

地域の被災者を減らすためには、避難経路や危険箇所などの防災診断や、過去の災害状況の聞き取り、住民の集会所などを地域の皆さんとともに行うことが必要ではないでしょうか。

今回、取材を行った大平地区では、公民館の文化祭に合わせて避難訓練を行いました。

このように、皆さんの地区などでも、地域行事と合わせて楽しく、そして真剣に訓練を行ってみたいかがでしうか。

また、各家庭での備蓄品は、あらためて災害時の備蓄品とするのではなく、日常生活の中での備えと合わせて考えてはいかがでしうか。

例えば、1人1日3リットル程度必要とされる飲料水を備蓄用として備えるのではなく、スーパーから無料でもらえる水をごまめに補充することで、常時2リットルのペットボトルを3本備蓄することができま。また、特売のときにカップ麺やオーブナー付きの缶詰などを普段より少し多めに買うことで、自然に備蓄することができま。このように、工夫すれば普段の生活の中で簡単に備蓄ができます。

自主防災組織を結成することはとても大切です。そして、本当に困ったときに地域の皆さんが協力して何ができるのかを、日ごろの自治会活動の中で見付けてほしいと思います。

愛する故郷と、大切な家族を地域ぐるみで守るために。

特集「地域ぐるみで守る」 おわり

晴れやかに 二十歳の門出 平成22年度成人式

1月9日、二十歳の門出を祝う「成人式」を中央公民館で開催しました。本年度新たに成人を迎えたのは、平成2年4月2日から平成3年4月1日までに生まれた388人。式で風間市長は、「大きな夢を持って大いに羽ばたいてほしい」と新成人にエールを送り、実行委員長の高橋悠樹さん（白川津田）と副実行委員長の目下汐莉さん（福岡八宮）が「広い視野を持って、流行に流されることなく、自分に責任を持ちたい」と誓いました。また、新成人自らが「地域福祉のために」と寄付を呼び掛け、寄付金がNPO法人白石うぐいす会に贈呈されました。



▲成人としての抱負を述べる高橋さん（右）と目下さん

それぞれのゴールを目指して 2011元旦「けり初め」



▲ひとつのボールに真剣・笑顔

1月1日、サッカーマン恒例の行事「けり初め」が白石川サッカー公園で開催されました。絶好のサッカー日よりとなった今年は、小学生から60歳代まで約70人が参加。4チームに分かれて紅白戦を行い、新しい年に期待を込めながらゴールを目指していました。

参加者は、「けり初めに参加しないと1年が始まらない」「いい1年になるように全力でボールを追いかけてました」と話してくれました。

白石サッカー協会（大宮信明会長）が主催するこの行事は、昭和43年に始まり今年で43回目を迎えました。

2011年が良い年でありますように 除夜の鐘を鳴らす会

12月31日、大みそかの恒例行事「除夜の鐘を鳴らす会」が白石城本丸内の鐘堂で開催されました。厳しい寒さの中、白石城には家族連れやカップル、受験生など約320人が来場。「2011年も健康でありますように」「志望校・企業に合格できますように」「良縁に恵まれますように」など、それぞれの思いを胸に鐘を打ち鳴らしていました。

また、31日と1月1日は、広告代理店「博報堂」の協力により白石城をLED照明でライトアップ。赤やオレンジ、緑など普段とは違った白石城に、来場者は歓声を上げていました。



▲思いが込められた鐘の音が城下町に鳴り響いていました

「じぶんをまもること」を楽しく親子で勉強 越河小でドナルド防犯教室



▲防犯教室では場面を想定した寸劇を実践！

12月9日、マクドナルドのキャラクター「ドナルド・マクドナルド」が越河小学校を訪れ、児童と保護者を対象に「食育・防犯教室」を開催しました。同小PTA（古山智子会長）の働き掛けにより実現した今回の教室。ドナルドと一緒にマクドナルド「4号線白石店」のスタッフが訪れ、1年生を対象に「食育教室」、全校児童を対象に「防犯教室」を行いました。教室では、「バランスの良い献立」を絵を使って分かりやすく説明したり、「知らない人に声を掛けられたとき」などの対応方法を児童たちと一緒に考えたりと、親子で楽しく学びました。

小正月の伝統行事「団子さし」を開催しました



1_笑顔いっぱいにもちつき 2_ミズキの木にもちの花を咲かせる園児たち
3_「花が咲いた」と喜ぶ園児たち 4_お殿様と一緒に団子さしをする園児

■地域の皆さんと一緒に団子さしともちつきを開催

1月7日、北保育園で「団子さし」を開催しました。同園では、毎年恒例となっているこの行事。地元の沖自治会の皆さんも手伝いに訪れました。

エプロンとバンダナに身を包んだ園児たちは、団子さしの由来などを大庭美智子さんから聞いた後、団子にするためのもちつきに挑戦。「ヨイショ〜！」と元気な声を掛けながら、きねでもちをつきました。園児たちがついたもちや赤や緑、黄色に染めて丸い団子に。ミズキの木に一つずつ丁寧に飾り付けました。最後は、みんなでおもちを食べながら、小正月を祝いました。

■白石城でお殿様と一緒に団子さしを体験

1月13日、ひかり幼稚園の園児約40人が、白石城で「団子さし」を体験しました。この催しは、白石市文化体育振興財団が、家庭で行われることが少なくなった、豊作や健康、商売繁盛を願う「小正月」の伝統行事を子どもたちに体験させ、後生に伝えようと初めて企画したものです。この日は、白石戦国武将隊奥州片倉組の「片倉小十郎」や「ポチ武者こじゅーろう」と一緒に、用意された約500個の紅白だんごや宝船などを、高さ約3メートルのミズキの木にさし「花が咲いたみたい」「きれいだね」と喜んでいました。

さわやかな気持ちで新年を迎える 白石城一周元旦マラソン

1月1日、白石高校陸上競技部OB会（菱沼宏一郎会長）が主催する恒例の「白石城一周元旦マラソン」が開催されました。市内外から約80人が参加して心地よい汗を流し、さわやかな気持ちで新年を迎えました。

参加者たちは、スタートの合図とともに一斉に駆け出し、白い息を吐きながら思い思いのペースで、約2.5キロのコースの走り初めを行いました。

参加者は、「天候にも恵まれ気持ち良く走れました。今年も良いことがある1年になってほしいです」と話してくれました。



▲一斉に駆け出す参加者たち

伝統を受け継ぐ 「小原たいけん教室」しめ縄づくり



▲真剣な表情でしめ縄をつくる児童

12月9日、子どもたちが地域に伝わる伝統行事への理解を深めることを目的とした「小原たいけん教室」が、検断屋敷で開催されました。今回の教室には、小原小中学校の児童・生徒約20人が参加。しめ縄づくりと、きねと臼を使った昔ながらのもちつきを体験しました。

しめ縄づくりでは、講師を務めた小室叡さんの指導を受けながら、それぞれ大きさや形が異なる個性豊かなしめ縄が出来上がりました。参加した児童は、「簡単だと思っていたけれど、縄結びが難しかったです」と話してくれました。

市民文芸

歌壇

岩崎 聰之介 選

吹き溜まる落ち葉日差しに乾きゆく音立つる
なり冬は間近く 八嶋 正子
ナナハンにへばりつゝいる銀カパーはがし走
らむ冬の青空 村上 英俊
あたたかき茶の間の壁に二泊せしでぶつちよ
カメムシつまみ出ださる 鈴木 茂子
姓でなく名前前呼び合う同窓会「花摘む野辺
に」と歌い肩くむ 後藤今朝雄
三面鏡の扉をそつと開くとき未知の朝をひら
く心地す 寺崎 悦子
妻に似たる案山子よことう畔みちにスズメ集
いて粉をついばむ 遠藤 行夫
スーパ―に通いくる客それぞれの暮らしうか
がわ正月近し 佐藤 啓子
軒下に干し柿吊るせば笑み出でて心和まん師
走の風情 鎌田ねい子
花に代はる枝付きの柿つばに差し部屋に飾り
てしばしながむる 遠藤 舞
みちの奥の空に描きぬ秋の日の由比に見たり
し裾野ひく富士 結城 絹

【評】一首目、かすかな乾反る音にも季節を思
う作者。周辺からの具体的な取材がいい。
二首目、「銀カパー」は、銀色の覆いで、
ここでは寒い季節の儼然さも表しているよう。
「へばりつゝいる」という形容も成る程だ。
三首目、ユーモラスにカメムシを描いて楽
しい。二泊させることで歌に繋げ得たのかも。

俳壇

遠藤 秋尾 選

昇る陽に輝く霜の城下町 岩澤 伍峯
包丁を研ぎて厨の年惜む 斎藤 典子
舟の月浮べる空に冬の星 高子たちばあ
初雪に足跡しるし跳ぶ雀 岩松 隆志

風間市長の風のそよそよやき

「辛卯」

かのとう

「空気も水もなく、無重力で地球の何倍ものジャンプと飛距離がでる月で、ウサギは生きていけないよ？」なんてつまらないことは考えないで、時には、

ボエムの気分で想像することも楽しいのではないかと思えます。満月のお月さまを見上げて、もちつきウサギの影を探してみ

お隣の中国では、「もち」ではなく「薬」だそうです。このような話は、世界各国にあるようです。
先日、諸施策が市民に等しく認知されていない、PR方法で悩んでいる私に、ある市議会議員の方から、「市長！紙ベースの広報しろいし、インターネットのホームページ、このほかに『動く広報』として、市民パスきやつするくんを活用してみ

と活力のある街にしていきたいと思います。市民の皆さまとともに力を合わせて！ウサギのようにジャンプ！飛躍させましょう。
話は変わりますが、今から48年前の昭和38年も卯年でした。アポロ計画を実行したケネディ大統領が暗殺され、日本では池田勇人さんが首相で、ボーリングが人気を集め、兼業農家が40%を超えた年です。この時代、国鉄の初乗りは10円だったよう

振る舞い、おもてなしをしてくれます。そこでは、ウサギと一緒に「月見」ならぬ「地球見」を楽しむのです。そして、「あの地球という所には、心優しく慈しみのある『人間』という生き物が、動物や植物などほかの生命体と仲良く、ともに平和に暮らしているよ」と自慢したいものです。
月にはウサギがいて、もちをついているというような伝承は、日本だけではないようです。

案をいただきました。車内だけでなく、バスの後や側面に取り外し自由なマグネット板を取り付け、大題目と連絡先を明記し、情報を発信させるそうです。車を運転しているときバスの後を走っていると、バスの看板の文字が意識しなくとも目に入ってきて、何のことかとても気になるそうです。
あまり車を運転しなくなった私には発想できなかった、面白く興味のあるアイデアです。いろいろな制約があり、実現可能かどうか今の段階では即答できませんが、大いに耳を傾けたい提案です。

今年も卯年。今まで以上に耳を立てて、共汗・共学・共生の精神で、愛する郷土を活力のある街にしていきたいと思います。市民の皆さまとともに力を合わせて！ウサギのようにジャンプ！飛躍させましょう。

柳壇

四電 英夫 選

一服の柚子茶の香り朝日差す 阿部はぎの
北支那の兄に干柿送りし日 制野 リエ
霜柱朝陽を受けて光ってる 佐藤 啓子
吾が膝にいつしか猫のまるみ居て 遠藤 忠臣
晴雨表欠かすことなく十二月 福原 峯子
はらはらと木の葉時雨の小道かな 寺崎 悦子
【評】一句目、朝霜に日が昇る景である。一読して分かる風景である。「城下町」の下五がいい。
二句目、「年惜む」が季語である。包丁を研ぎ台所の隅々まで掃除されたのであろう。ふと一年を振り返り、過ぎ行く日々を惜しむのである。主婦ならではの句。
三句目、この句も情景が目には浮かんでくる作品。「冬の星」の下五が、全体を生き生きとさせた。

気が付けば二人三脚古希を過ぎ 水戸 光穂
友情が敵となった貸した金 草野 清
今日も無事記した日記軽く閉じ 佐藤 啓子
流星群祈る間もなく消え去りし 斎藤 典子
腰下ろし頬杖ついて無とさとり 遠藤 行夫
一とせの過ぎし早さをかこちをり 高子たちばあ
熊だつて満腹にして眠りたい 阿部はぎの
やさしさと忍耐少し夫婦とや 寺崎 悦子
初孫の笑顔寝顔に癒される 遠藤 松雄
忘れないうちに選んだ場所忘れ 阿部みさ子
【評】一句目、夫婦は空気のようなもの。居るときは気が付かないが、なくてはならない存在。恙なく共に白髪が生えるまで。
二句目、金の切れ目が縁の切れ目などと言われるが、とかく金は争いのもと。金は崇高な主人であるとともに、人を奴隷にもする。
三句目、今日一日、生きた証しを書き記し安堵の眠りに就く。無事に過ごした感謝と、満足感が伝わる。「軽く閉じ」が言い得て妙。

—思いやりのある良質で信頼される医療を目指して—

公立刈田綜合病院紹介

リハビリテーション科紹介(作業療法)

作業療法士 高橋 ともみ 朋美

当院のリハビリテーション科は、医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の4職種で構成されています。

今回は「作業療法」についてご紹介します。「作業療法士」は主に身体障害、精神障害、発達障害などを持った子どもから高齢者まで、あらゆる年齢層を対象に、医師の指示の下、その人が本来持っている機能の回復や維持を行う専門職です。

作業療法の「作業」は具体的に、「起き上がる」「ご飯を食べる」「トイレに行く」「洋服を着る」「歯を磨く」「顔を洗う」「家事・仕事をする」など、日常行っていることすべてを含みます。そして、「何らかの原因により手がうまく使えない」(身体機能面)、「物事を考えられない・覚えられない」(認知力の低下)に対して日常生活を円滑に行うために、筋力訓練や手工芸などを用いて訓練を行います。

例えば、脳卒中が原因で利き手が麻痺した場合、反対

の手で利き手と同様に動作を行うための訓練を行ったり、主婦の方が自宅退院される際には作業療法士と一緒に調理訓練などを行ったりします。また、便利な道具の紹介や家屋改造、介助方法などの指導も行います。

当院の作業療法では、主に脳卒中や上肢の骨折の方を中心にリハビリを行っています。発症後早期から、患者さまの状態に合わせて訓練を行い、退院後もよりよい生活を送っていただけることを目指しています。



作業療法での訓練の様子

平成23年4月「回復期リハビリテーション病棟」開設予定

まちの話題

～あの日、あの時～

みんなの無病息災を願って
武家屋敷で恒例行事「冬至の会」・「七草の会」

年末年始の恒例行事「冬至の会」と「七草の会」を12月22日と1月7日、武家屋敷で開催しました。

「冬至の会」では、風邪をひかず長い冬を乗り切るよう、小豆とかぼちゃを煮込んだ「冬至かぼちゃ」を提供。「七草の会」では、万病・邪気を除くといわれる「七草がゆ」を振る舞いました。訪れた方々はいろりを囲み、家族の無病息災をお祈りしながら、季節の話と伝統の味を楽しみました。

この催しは、平成5年に武家屋敷が復元されて以来、毎年開催。文化財施設でこのような会を開催するのは県内でも珍しく、「地域の伝統を残していきたい」という思いと、料理を担当した「ヘルスメイト白石」(立田ふち子会長)の皆さんのご協力により開催することができています。



1-2 甘い小豆とほくほくのかぼちゃが体を温めてくれます 3 七草がゆには、お正月で疲れた胃を休める意味も込められています



3 情報センター「アテネ」

http://www.city.shiroishi.miyagi.jp/section/athens/

開館時間 火～日曜日 9:00～17:00
2月の休館日 4・7・11・14・21・28日
☎22-1500 ㊟22-1502

■パソコン講習会

●申し込み締め切り

- ・2月分：2月6日(日)
- ・3月分：3月6日(日)

※締め切り後でも定員に空きがあれば受講できますので、問い合わせ

ください。

●会場 アテネ1階講習会場

●受講資格 図書館共用利用者カードをお持ちの方

※即日発行可。ただし、市民または市内に通勤、通学している方が優

パソコン講習会・アテネ塾 2月・3月分日程表							
コース名	時間	2月	3月	定員	受講料	テキスト代	内 容
ゆっくりVISTAコース (2日×6時間)	9:30～16:30	17(木)～18(金)	19(土)～20(日)	10人	2,000円	1,000円	パソコン初心者向けのコースです。マウス・キーボードの操作、文字入力・インターネット・電子メールなどのパソコンの基本操作を学びます。※2日連続のコースとなります。
Word 2007コース (6時間)	9:30～16:30	—	17(木)	10人	2,000円	1,200円	Word2007の基本操作※ゆっくりVISTAコース終了程度の方が対象です。
Excel2007コース (6時間)	9:30～16:30	—	18(金)	10人	2,000円	1,200円	Excel2007の基本操作※ゆっくりVISTAコース終了程度の方が対象です。
写真からオリジナルアルバムを作ろう！ (1日2回)	①午前9:30～12:00 ②午後14:00～16:30	19(土)	—	①②各10人	1,000円	※テキストの利用はありません	デジタルカメラなどで撮影した写真をパソコンで編集し、音楽を付けて、オリジナル作品(スライドショー)を作ります。※ゆっくりVISTAコース終了程度の方が対象です。※各日・開始時刻ごとの申し込みとなります。
		20(日)	—	①②各10人			

4 図書館

☎26-3004 ㊟26-3505

2月の休館日 4(館内整理日)・7・11・14・21・28日

開館時間

火・金・土曜日 9:00～17:00

水・木曜日 9:00～19:00

日曜日 9:00～16:00

●ホームページURL

http://www.city.shiroishi.miyagi.jp/section/toshokan/

■新聞エコバックをつくってみませんか？

～軽くて丈夫 意外におしゃれ！～

どこの家にでもあって、読み終えたら用がなくなる新聞紙。自分の手でもう一度、命を吹き込んであげられたらそれが本当のリサイクル。失敗しても大丈夫。図書館でのびのび、エコバックを作ってみませんか？

■参加無料

●日時 2月19日(土)9:30～11:00

●場所 図書館2階 文化室

●募集定員 20人(申し込み順)

●対象 小学5年生以上

※大人の方もぜひご参加ください。

●申し込み方法 電話またはご来館の上、お申し込みください。

●申込締め切り日 2月15日(火)

5 弥治郎こけし村

■入村無料

2月は無休で開村します。

開村時間 9:00～16:00

■「木地雛の里 雛の宴展」

春を告げるかわいらしい素朴な雛こけしを多数展示しています。

先となります。

●申し込み方法

アテネ備え付けの申込用紙で、各締め切り日までに申し込みください。はがきやファクスで申し込む場合には①住所、②氏名、③年代、④連絡先の電話番号、⑤利用者カード番号、⑥希望コース名と希望月日を明記してください。

なお、受講料やテキスト代は当日、1階受け付けにお持ちください。

申込書のあて先

〒989-0257 白石市宇垣理町37-3

白石市情報センター

※締め切り日に集計し文書で講習日をお知らせします。定員を超えたコースは抽選などで調整します。なお、講師用に受講者名簿(氏名、年代のみ記入)を作成しますので、あらかじめご了承ください。

開館時間 9:00～16:00
☎26-3993

お気に入りの木地雛を探してみたいかがですか？

●期間 3月3日(木)まで

※雛の宴展開催中は、無休で開村

■こけしの絵付け体験実施中！

●絵付け料 600円(木地代を含む)

「弥治郎こけし初挽き」を開催しました

1月2日、弥治郎こけし村に隣接する小野宮惟喬親王神社(通称こけし神社)で、新春恒例の「こけしの初挽き」を開催。今年の初挽きを行う工人は新山民夫さんで、地元の子どもたちのこけしみこしと一緒に神社に向



312 神社へ向かう子どもたちのこけしみこし正装のえぼしとひたれに身を包み、落ち着いた面持ちで初挽きを行う新山民夫さん

※ファミリー・サポート・センターや子育て支援センターなどの子育て情報を20ページに掲載しています。

6 あしたば白石

2月の休館日 7・11・13・21・27日
☎・㊟25-5095 ☎25-6593

■フロアミーティング

「イキな話いろいろ」参加者募集！

仕事や子育て、介護など、豊かな経験をお持ちのゲストの話を聞いて、生き方のヒントを見つけませんか？

●日時 2月17日(木)10:00～12:00

●ゲスト 山内あき子さん(伊達なクニづくり女性委員会委員長)

●募集定員 20人(申し込み順)

●参加費 無料

※託児を無料で行います(1歳以上のお子さんで、事前に申し込みが必要です)。

7 白石スキー場

☎24-8111 ㊟24-8267

2011シーズンは、こどもリフト券
1,000円(中学生以下対象)

■レディース&マスターズスキー教室(要予約)

●日時 2月2日(水)・16日(水)

●内容 リフト1日券・昼食・ケーキセット(無料送迎バスあり)

●料金 3,500円

■バレンタインプレゼントDAY

●日時 2月14日(月)

●内容 カップルはリフト1日券50%OFF(高校生以上)、さらにリフト1日券1枚(3月有効)をプレゼント

■スキー子供の日(中学生まで)

●日時 2月19日(土)

●内容 レンタル料50%OFF・スクール50%OFF

■第10回アザレア杯スキー技術選手権大会

●日時 2月20日(日)

●内容 S A J 2級程度以上の方を100人程度募集します。

基礎スキー技術大会の競技種目は、大回り、小回り、総合滑降の3種目です。参加希望者は事前にお申し込みください。

■スノーウォッチング

●日時 2月9日(水)・23日(水)

●内容 白石スキー場と不忘山を往復します。真っ白な絶景をお楽しみください(30ページに関連記事掲載)。

●料金 3,500円

■「登録団体」の申請受け付けを開始します

平成23年度に、あしたば白石を拠点として活動するサークルなど、「登録団体」を募集します。

登録は1年ごとで、登録団体に認定されると年間を通して利用料金の減免が受けられるなどの利点があります。

ただし、認定には要件がありますので、詳しくは、あしたば白石までお問い合わせください。

●受付期間 2月1日(火)～28日(月)

8 スパッシュランドしろいし

☎29-2326 ㊟29-2328

2月の休館日 2・9・16・23日

開館時間 10:00～20:00

■ヨガ教室

●開催日時 2月6・13・20・27日(すべて日曜日)、14:15～15:15

■アクアエクササイズ教室

●開催日時 2月7・14・21・28日(すべて月曜日)、10:30～11:30

■水泳教室

●開催日時 2月3・10・17・24日(すべて木曜日)、10:30～11:30

■水中健康教室

●開催日時 2月4・11・18・25日(すべて金曜日)、10:30～11:30

●受講料 各教室1回 300円

※各教室とも、受講料のほかに施設利用料が必要です。

9 いきいきプラザ

☎22-1635 ㊟22-1636

2月の休館日 7・14・21・28日

■定期リサイクル教室(定員20人)

～和紙人形 おひなさま作り～
桃の節句の「おひなさま」を折り紙で作ってみませんか？

●日時 2月19日(土)10:00～12:00

●講師 宮城県環境教育リーダー 樋口洋画子さん

●材料費 300円

●持参する物 はさみ、ものさし

●申込受付開始日 2月3日(木)

■フリーマーケット(第4土曜日)

●日時 2月26日(土)8:30～12:00

図書館ひろば

今月のおすすめの本

一般書

■旧石器遺跡「捏造事件」

岡村 道雄 著 山川出版

2000年11月、藤村新一氏による旧石器遺跡の捏造事件がばかれた。渦中にあった元文化庁主任文化財調査官が、遺跡がどのように捏造されたのかを10年の沈黙を経て明らかにした注目の一冊です。



■小島貴子式学生のためのキャリアレッスン

小島 貴子 著

日本能率協会マネジメントセンター

社会人経験のない学生が、自分らしい職業選択・職場の選択ができるよう、就職活動の前に自分の基礎固めをするための本です。本編に沿って自分を見つめなおすことで、自分オリジナルの就職手引きとして活用することができます。



■ウラジオストクから来た女

函館水上警察

高城 高 著 東京創元社

明治24年10月の函館。五条警部は、毛皮のコート姿の見慣れぬ女に目を奪われた。函館生まれながらロシア人の養女になった彼女の、悲しい過去とは…。



児童書

■くらしを変えてきたあかりの大研究

深光 富士男 著 PHP研究所

私たちの生活に欠かさない「あかり」。たき火などに頼っていた時代から、日本特有の灯火具が次々と現れた時代、電気やLEDなどを使うようになった現代まで、魅力的なあかりの世界を紹介します。



■ネルとマリのたからもの

亀岡 亜希子 作 PHP研究所

ヤマネのネルはマリの真似をしてきれいな羽を集めていました。そして、冬眠の時期になってもやせっぽちのままだったことに気づいて、羽を集めることをやめました。

しかし、マリは冬眠に備えず、きれいなものを集めることばかりして…。



4月から「容器包装プラスチック」の分別収集が始まります！



「容器包装プラスチック」とは、商品を入れたり（容器）、包んだり（包装）しているプラスチックで、**㊦**が表示されています。

4月からプラスチック類は、ごみの減量と資源リサイクルを推進するため、「容器包装プラスチック」と「その他のプラスチック」の2種類に分けて分別収集し資源化を行います。

なお、**㊦**の表示がないプラスチックは、これまで通り「その他のプラスチック」として資源回収を行います。

「容器包装プラスチック」は「資源ごみ」に！

※「容器包装プラスチック」は資源ごみとして**赤い袋**に入れてください。

※「容器包装プラスチック」と「その他のプラスチック」は別に入れてください。

※収集日は広報しろいし3月号をご覧ください。

■「その他のプラスチック」として分別収集されるもの

㊦がついていないもので、100%プラスチック製素材の日用雑貨品などは、「容器包装プラスチック」とは別に収集し資源としてリサイクルします。

●具体例 バケツ、洗面器、保存容器、CD・DVDとそのケース、プラランターなど

■「容器包装プラスチック」「その他のプラスチック」共通の注意点

分別しても、汚れているものは資源としてリサイクルできません。

せん。目で見て汚れが取れる程度に、食器を洗った残り水ですすぐか、古布でふいてください。すすいだり、ふいたりしても汚れが落ちないものは、「もやせるごみ」に出してください。

■「ごみ分別説明会」を開催します

地区ごとに、「容器包装プラスチック」を含めた「ごみ分別説明会」を、下記の通り開催します。ぜひ、お近くの会場にお越しください。

◎生活環境課 ☎22-13134

〈ごみ分別説明会の日程と会場〉

開催日時	相談会場
2月12日 土 10:00	越河公民館 集会室
2月12日 土 13:30	福岡公民館 集会室（2階）
2月12日 土 18:30	白石市役所 大会議室（4階）
2月13日 日 10:00	大平公民館 集会室
2月13日 日 13:30	大鷹沢公民館 集会室（2階）
2月19日 土 10:00	白川公民館 集会室（2階）
2月19日 土 13:30	斎川公民館 集会室
2月20日 日 10:00	深谷公民館 集会室
2月20日 日 13:30	小原公民館 集会室（2階）
2月26日 土 18:30	中央公民館 第一・第二講座室



※果物を保護するネットや商品などを保護する緩衝材など、例外的に**㊦**がないものがあります。

※詳しくは、3月に配布予定の「ごみの分け方と出し方」をご覧ください。

■市内施設のなるほどイベント情報

1 古典芸能伝承の館「碧水園」

2月の休館日 7・14・21・28日
☎・☎25-7949

きさらぎ 如月の碧水園茶会（方円流煎茶席）

●日時 2月6日（日）10:00～15:00
（受け付けは14:30まで）

●お茶券 500円

1月の碧水園は新春の情緒たっぷりでした！

1月9日、「舞台開き」が開催されました。関係者が能舞台上がり、古典芸能の隆盛を願う「舞台清め式」、その後、榊流大町神楽「四方堅」の舞が披露されました。



▲榊流大町神楽「四方堅」

また、茶室では、「お茶会」が開催され、参加者は、新春の一夜を楽しみました。

「中村獅童in白石 トーク会&握手会」が開催されました



「舞台開き」に合わせ、開館20周年特別記念として、歌舞伎界の若手ホープで、映画界でも活躍されている中村獅童さんをお招きし、「中村獅童in白石 トーク会&握手会」が開催されました。会場には、中村さんを一目見ようと、市内外から約270人が訪れました。

「トーク会」は、若柳梅京さんの進行で、中村さんが歌舞伎を始めたきっかけや映画出演時のエピソードなどを聞くことができました。

また、風間市長や観客とのフリートークでは、観客から「モチベーションを保つ方法を教えてください」との問いに、中村さんは「ひとつの夢がかなうたびに満足してはいけません。常に高い山を目指しています」「舞台上上がるのはとても怖いことです。だから稽古をしています。『一生、自分自身との戦い！』、それがモチベーションを保つということなんですかね」と話されました。

さらに、「今の自分に安心しないで、人との生の出会いを大切にしたいです」と話されました。

「トーク会」終了後は、中村さんとの握手を希望する観客と「握手会」が行われ、観客の皆さんは、中村さんと心豊かな時間を過ごしました。



▲左から中村さん、風間市長、若柳さん 中村さんに風間市長から名入りのめんこ印をプレゼント！

Monthly News

土・日・祝も開館しています！ 2 ふれあいプラザ

ふれあいプラザ事務局

☎22-6025 ☎22-6027

男女共同参画相談支援センター

☎22-6035 ☎22-6037

ファミリーサポートセンター ☎・☎25-5488

開館時間 8:30～17:15

（土・日・祝日 10:00～16:00）

ふれあいミニ展示



◀題名 姫りんご

入場無料

～ちぎり絵サークル作品展～

「和紙の里白石」にふさわしい和紙ちぎり絵を多数展示しますので、ぜひご覧ください。和紙が見事に変身するさまをお楽しみください。

●展示期間 2月9日（水）～27日（日）

●展示場所 1階図書コーナー

■「いきいき人生セミナー」参加者募集

～心と脳が喜ぶアート“臨床美術”体験会～

臨床美術は、美術創作活動を楽しみながら、脳と心をいきいきさせる芸術療法です。認知症の予防や改善、心の問題のケア、または感性教育の一環として教育、保育分野でも注目されています。上手下手にとらわれず、五感を使って描いていきます。否定されないコミュニケーションにより、脳が活性化され、心に癒しをもたらす、製作過程には思いがけない発見と驚きがあります。

アートでコミュニケーションを楽しみましょう！

●日時 3月5日（土）10:00～12:00

●場所 2階研修室

●講師 千葉 弘美臨床美術士（東北福祉大学社会貢献センター講師）

●参加費 500円（材料費）

●定員 25人（申し込み順）

●申込受付期間 2月7日（月）～25日（金）（土・日・祝日を除く）

※参加費を添えてお申し込みください。

●申し込み・問い合わせ先

子ども家庭課 ☎22-1363

●お子さんとお母さんの健診と相談 (場所:健康センター)

内容	2月分		3月分		受付時間
	月日	対象者	月日	対象者	
4カ月児健診	2月23日(水)	平成22年10月生まれの方	3月23日(水)	平成22年11月生まれの方	13:00～13:10
6カ月児育児相談	2月25日(金)	平成22年 8月生まれの方	3月25日(金)	平成22年 9月生まれの方	9:20～ 9:30
1歳6カ月児健診	2月24日(木)	平成21年 7月生まれの方	3月24日(木)	平成21年 8月生まれの方	13:00～13:10
2歳6カ月児 親子歯科健診	2月25日(金)	平成20年 8月生まれの方	3月25日(金)	平成20年 9月生まれの方	13:00～13:10
3歳6カ月児健診	2月22日(火)	平成19年 8月生まれの方	3月22日(火)	平成19年 9月生まれの方	13:00～13:10
乳幼児相談	2月 3日(木)	乳幼児～未就学児のお子さまと そのご家族の方	3月 3日(木)	乳幼児～未就学児のお子さまと そのご家族の方	9:15～ 9:45
妊婦歯科健診	2月8日(火)に、「妊婦さんと赤ちゃんのサロン」と合わせて行います。				

※「乳幼児健診」は個人に通知しませんので、広報しろいしをご覧ください。母子健康手帳・問診票・バスタオルを持参しておいでください。また、当日、都合の悪い場合は翌月に受診できますので、ご連絡ください。

●妊婦さんと赤ちゃんのサロン (場所:健康センター)

内 容	月 日	受付時間	サロン
助産師とお話をしながら過ごすサロンです。妊婦さん、4カ月児健診前のお子さまとその家族の方が対象です。希望により個別相談もできます。	2月 8日(火)	9:20～10:00	10:00～11:00
	3月 8日(火)		

※母子健康手帳は、健康推進課窓口で随時交付しています(開庁日の8:30～17:15)。

●生活習慣病予防のための市民公開講座

参加無料
糖尿病は、かなり重症にならないと症状が出ず、放置しておくこと怖い合併症が待っています。本市では、昨年に比べて受療率が上昇しています。この機会に、糖尿病について勉強してみませんか？

●日時 2月10日(木) 9:30～11:30
●場所 健康センター2階 大会議室
●内容 講演「知って防ごう糖尿病～あなたに近寄る合併症の恐怖～」
●講師 仙台白百合女子大学 准教授 佐々木裕子先生
●申し込み・問い合わせ先 健康推進課 ☎22-1362
※前日までに、電話でお申し込みください。

子育て情報

子育てメール相談(担当:子ども家庭課)
メールで子育て相談ができます。
●メールアドレス kodomo@city.shiroishi.miyagi.jp

地域子育て支援センター「あいあい」

※子育てに関する相談を随時受け付けています。気軽にご相談ください。

●開館日 月～金 8:30～17:15
☎ふれあいプラザ内 ☎22-6025 ☎22-6027
Eメールアドレス kosodate@city.shiroishi.miyagi.jp

■「ほっぶんちょ」を開催します！

参加無料

～楽しい子育てを応援します～

乳幼児と家族の方々の交流のひろばです。今月は、本市の保健師が「子どもの病気」についてお話しする予定です。気軽にご参加ください。

●対象 就園前のお子さまと保護者

●日時 2月16日(水)10:00～11:30

●場所 中央公民館2階講座室

※参加を希望される方は、会場に直接お越しください。

■「あいあいらんど」開催！

参加無料

手遊びや体を動かして楽しく遊びましょう。保護者の方々の交流の場にもなっています。

●対象 就園前のお子さまと保護者

●日時 2月23日(水)10:00～11:30

●場所 大平公民館

●持ち物 室内靴(親子とも)、お子さま用にお茶またはお水

※参加を希望される方は、会場に直接お越しください。

■「ベビーマッサージ」開催！

母乳や育児のことでお困りの方もぜひどうぞ。

●講師 助産師 岩佐あけみさん

●日時 3月8日(火)10:00～11:30

●場所 ふれあいプラザ和室

●対象 生後2～6カ月ごろまで

●募集定員 10組(申し込み順)

※初めての方が優先となります。

●参加費 100円(オイル代)

●持ち物 バスタオルなど

●申し込み方法 3月1日(火)以降、ふれあいプラザ内子育て支援センターに電話でお申し込みください。

■支援センターの子育てサークル

2月・3月の開催日のお知らせ

参加無料

お子さまの成長に合わせた、年齢ごとの子育てサークルです。

①ニコニコるーむ(0～6カ月児)

2月14日(月)、3月14日(月)

②ハイハイるーむ(7～11カ月児)

2月9日(水)、3月9日(水)

③ヨチヨチるーむ(1歳児)

2月2日(水)、3月2日(水)

④ランランるーむ(2歳児)

2月3日(木)、3月3日(木)

⑤ルンルンるーむ(3歳児以上)

2月10日(木)、3月10日(木)

●場所(共通) ふれあいプラザ

●時間(共通) 10:00～11:30

※参加を希望される方は、直接お越しください。

ファミリー・サポート・センター

●受付時間 月～金 9:00～17:00
☎ふれあいプラザ内 ☎25-5488
Eメールアドレス famisapo@city.shiroishi.miyagi.jp

■サンタさんがやってきた！ ふれあいプラザ「クリスマス会」を開催しました

12月15日、ファミリーサポートセンターと子育て支援センター共催の「クリスマス会」を開催しました。55組119人が参加し、ふれあいプラザの中には、元気な子どもたちの声が響き渡りました。

サンタさん登場の場面では、子どもたちが手作りおもちゃのプレゼントを受け取り、満面の笑顔を見せていました。そのほかにも、パネルシアターを見たり、みんなで歌ったりと、楽しい1日になりました。



▲サンタさんからプレゼントを受け取りうれしい表情を見せる子どもたち

～2月は子ども手当の支給月です～

平成22年10月分から平成23年1月分までの子ども手当を、受給者の方へ振り込みます。2月4日以降、該当する金融機関でお受け取りください。

☎子ども家庭課 ☎22-1363

■ファミサポ会員随時募集中

ファミリーサポートセンターは、地域の皆さまとともに子どもたちの健やかな成長を願い、心に余裕を持った育児ができるように家庭をサポートする子育て支援事業です。

急なお仕事や通院など、一時的なお子さまの預かりに対応します。登録しておくとすぐにご利用できますので、万が一に供えて、早めの入会をお勧めします。

入会の手続きは簡単です。印鑑をお持ちの上、ふれあいプラザにご来館ください。利用料は、1時間当たり子ども1人につき500円、2人目(兄弟、姉妹)以降1時間当たり250円です。

子育てのお手伝いができる方(提供会員)も募集しています。

2月のおはなしひろば

●開催日 2月10日(木)

●時間 11:00および15:30の2回

※毎月第2木曜日開催

●場所 アテネ1階階段シアター

●内容 紙芝居や絵本の読み聞かせ

☎図書館 ☎26-3004

虫歯を予防しよう！

虫歯は食生活習慣病です。甘い物をだらだら食べたり、飲んだりしていると虫歯になりやすくなります。規則正しい食生活と仕上げ歯磨きで虫歯を予防しましょう！

虫歯ができてしまったら治療しなければ治りません。特に子どもの虫歯は進行が早いので早めに治療することが大切です。

☎健康推進課 ☎22-1362

だ液は、歯を守る強い味方です

だ液には、溶けた歯の表面を修復する働きがあります。これを「再石灰化」と言います。

また、だ液には食べかすを洗い流したり、酸を中和したりする働きもあります。

だらだらと甘い物などを食べていると、歯を修復する時間が取れません。時間を決めて、よくかんで食べる習慣を心掛け、だ液の分泌量を増やして歯の再石灰化を促しましょう。



元気っ子！

集まれ！



▲12月14日の3歳6カ月児健診を受診した子どもたち

生活習慣病予防のためのヘルシークッキング

野菜たっぷりお好み焼き

1日に野菜を350g以上
食べましょう！

材料(2人分)

豚モモ薄切り肉	20g	水	大さじ3
キャベツ	30g	長イモ	10g
青ネギ	10g	桜エビ	小さじ1
卵	1/4個	油	小さじ1
小麦粉	50g	マヨネーズ	大さじ1
ベーキングパウダー	1g	ソース	大さじ1
和風粉末だし	1g	カツオ節	1g
砂糖	1g	青のり	少々
塩	少々		



エネルギー206kcal／たんぱく質6.9g／塩分1.1g

〈作り方〉

- ① キャベツは太めの千切りに、青ネギは小口切りにする。
- ② ボウルに小麦粉とベーキングパウダー、和風粉末だし、砂糖、塩をふるい入れ、水を少しずつ加えながら混ぜる。①とすり下ろした長イモ、桜エビ、卵を加えてさらに混ぜる。
- ③ フライパンに油を流し、②を入れ、豚肉を乗せて両面焼く。
- ④ 焼き上がったらマヨネーズとソースを掛け、カツオ節と青のりを乗せて出来上がり。



ヘルスメイト白石
白石地区の皆さん

●インフルエンザの予防対策を万全に

本年度もインフルエンザの流行期を迎えています。感染予防対策を徹底されますようお願いします。

●主な感染予防対策

- (1) 外出時はマスクを着用し、人込みはなるべく避ける。
- (2) 外出をしたら手洗い・うがいをする。
- (3) 睡眠など休養をよく取り、栄養に気を配る。
- (4) 症状の重症化を避けるため、無理をせず、早めに医療機関を受診する。
- (5) 「せきエチケット」を守る。「せきエチケット」とは、以下のマナーのことです。
 - ・せきやくしゃみをする際は、ティッシュやハンカチなどで口と鼻をおおう。
 - ・ティッシュはその都度捨て、その後は手を洗う。
 - ・せきやくしゃみなどの症状がある場合は、すぐにマスクを着用する。



●献血のご協力ありがとうございました

12月：白石高等技術専門学校 15人、白石高等学校 18人、ジャスト白石店（セラビ白石内） 27人

●2月の献血実施予定

場 所	日 時	種 類
ジャスト白石店(セラビ白石内)	2月19日(土) 10:00～12:00および13:00～16:30	全血

●こころの保健事業 (場所:健康センター)

事業名	対象者	内容	相談日時
こころの相談 (精神保健福祉相談)	心の健康問題を抱える人およびその家族	精神科医による個別相談	2月 1日(火) 9:30～12:00 3月 1日(火) 9:30～12:00
もの忘れ相談 (認知症相談)	物忘れや認知症の方およびその介護で悩む方々	精神科医による個別相談	2月23日(水) 13:00～15:00 3月23日(水) 13:00～15:00

※相談を希望する方は、事前予約が必要です。ご利用の方は健康推進課(☎22-1362)にお問い合わせください。

●仙南保健福祉事務所からのお知らせ (場所:仙南保健福祉事務所)

※○印は精神科医による相談

事業名	対象者	内容	相談日時
アルコール専門相談	アルコールの問題を抱えている本人およびその家族	相談員による個別相談	2月 4日(金) 13:00～15:00 3月11日(金) 13:00～15:00
思春期・ひきこもり 専門相談	思春期の心の問題を抱えている本人およびその家族や関係者、ひきこもりの状態の本人およびその家族や関係者	相談員によるカウンセリングまたは、精神科医による相談(診察)	○ 2月24日(木) 13:00～15:00 3月 4日(金) 13:00～15:00 3月18日(金) 13:00～15:00 ※2月24日(木)は、精神科医と相談員の両方が、ご相談に対応します。

※相談を受けたい方は事前予約が必要です。ご利用の方は仙南保健福祉事務所 母子障害班(☎0224-53-3132)にお問い合わせください。

●休日当番医・調剤薬局

月 日	内科	外科	調剤薬局	歯科
2月 6日	柿崎小児科 ☎25-2210	公立刈田総合病院 ☎25-2145		白石市歯科休日診療所(健康センター2階) ☎25-4744
2月11日	たかはし内科クリニック ☎22-2535	つつみ内科外科 こどもクリニック ☎25-1181	みどり薬局城北店 ☎22-4966 フレンド薬局清水小路 ☎24-3393	
2月13日	亘理内科胃腸科医院 ☎25-8501	公立刈田総合病院 ☎25-2145		
2月20日	三浦内科胃腸科クリニック ☎25-6854	橋本整形外科医院 ☎25-1616	あさひ薬局 ☎22-5040	
2月27日	海上内科医院 ☎25-1501	大泉記念病院 ☎22-2111	フレンド薬局白石 ☎24-2119 伊新薬局 ☎26-2593 宮調剤薬局 ☎24-3113	
3月 6日	水野内科クリニック ☎25-2736	公立刈田総合病院 ☎25-2145	エルム調剤薬局 ☎25-1680	
3月13日	梅津内科医院 ☎24-3571	公立刈田総合病院 ☎25-2145	フジ薬局 ☎24-3355	

●歯周病検診の受診はお済みでしょうか？

昨年9月1日(水)から歯周病検診を実施しています。2月28日(月)までとなっていますので、この機会にぜひ受診しましょう！ なお、対象者の方には、既に受診券を送付していますが、「まだ届いていない」「なくしてしまった」という方は、健康推進課(☎22-1362)までお問い合わせください。

●対象者 30歳、35歳、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳

※対象者の年齢は、平成23年4月1日現在のものです。

皆さんは、パソコンや携帯電話を使う「VDT作業」の健康に対する影響をご存じでしょうか？(VDT: Visual Display Terminal の略。コンピュータのディスプレイなどの表示機器を使用した作業のこと)不適切なパソコン作業の持続は、「目の疲れ」「肩こり」「腰痛」「頭痛」「ストレスによる精神的な疲労」など、心身にさまざまな悪影響を与えます。厚生労働省の報告によりますと、VDT作業者のうちの「約4割が精神的疲労を感じ、身体的疲労を感じている方は約8割」もいるそうです。

①作業姿勢に無理はありませんか。深く腰掛け、足裏全体が床に接していますか。
②ディスプレイの位置や明るさは適切ですか。40センチ以上の視距離で、画面の照度は500ルクス以下になっていますか。
③照明や採光は適切ですか。室内は、まぶしさを生じさせないようにしていますか。
④1時間を超えて連続作業をしていませんか。時折、小休止して遠くの景色を眺めましょう。美しい蔵王連峰を眺めるのも効果的です。

「長時間のパソコン作業は要注意」



公立刈田総合病院 健診センター長

洞口正之

健康一口メモ

左記に、厚生労働省のガイドラインを参考に、その対策としての「健康一口メモ」を示しますので、ぜひ各自でチェックしてください。

①作業姿勢に無理はありませんか。深く腰掛け、足裏全体が床に接していますか。

②ディスプレイの位置や明るさは適切ですか。40センチ以上の視距離で、画面の照度は500ルクス以下になっていますか。

③照明や採光は適切ですか。室内は、まぶしさを生じさせないようにしていますか。

④1時間を超えて連続作業をしていませんか。時折、小休止して遠くの景色を眺めましょう。美しい蔵王連峰を眺めるのも効果的です。

壽丸屋敷ひなまつり コンサート

- 日時 2月27日(日)13:30～
(13:00開場)
- 場所 壽丸屋敷大広間
- 内容 ①佐藤美佐子と雲走範子の
歌と語りのコンサート(1時間)、
②折り紙で雛人形をつくろう!、
③ホワイトカレーうーめんの試食
(60人分、なくなり次第終了)
- 主催 白石まちづくり(株)
- 共催 昔むかしを伝える会
- 〒白石まちづくり(株) ☎25-6054

白石高等学校箏曲部 第1回定期演奏会

- 誰もが知っている曲から“Theお
琴”な曲まで、さまざまな曲を生徒
が演奏します。
- 日時 3月13日(日)14:00～16:00
- 場所 しんきんホール
(仙南信用金庫3階)
- 〒同校箏曲部 遊佐 ☎25-3154

募集します

わたしの町のたからもの 写真・絵画コンクール作品募集

- ～地域の宝ものを描いてみませんか?～
- 白石市にちなんだ「写真・絵画」
を募集します。応募作品は、市内商
店街などに展示されます。
- 応募規定
- 写真部門：四つ切り(254^{ミリ}×305^{ミリ})、
タテヨコいずれも可(データのみで
の受け付けはできません)。
- 絵画部門：原則四つ切り版(392^{ミリ}×
542^{ミリ})、タテヨコいずれも可。
- 応募締め切り日 5月31日(火)
- 展示期間 7月1日(金)～31日(日)
- 各賞 部門ごとに最優秀賞と優秀
賞3作品(表彰状と記念品を贈呈)
- 応募方法 申込用紙に必要事項を
記入の上、作品と一緒に持参または
郵送してください。
- 応募・問い合わせ先
〒989-0216 白石市字寺屋敷前25-6
中央公民館内白石ユネスコ協会 わ
たしの町のたからもの写真・絵画コ
ンテスト係 ☎22-1343・26-2453

「白石市市民便利帳」への 有料広告を募集します

- 市では8月末に、各種サービスや
手続きなど、暮らしに役立つ情報誌
「市民便利帳」をタウンページと合
冊した形態で発行します。この市民
便利帳は、NTT番号情報(株)との
官民共同事業として、発行経費はす
べて広告収入で充当します。
- 5月中旬ごろまでの間、「市民便
利帳」への広告掲載のご提案とご案
内に、NTT東北電話帳の営業担当
者が市内の商店・事業所を訪問しま
すので、ご協力をお願いします。
- ※広告枠の大きさや費用などの詳細
は、お問い合わせください。
- 〒NTT東北電話帳(株)
☎0800-800-3201(通話料無料、平
日9:00～17:30)

安全運転者講習会 受講者募集

- 日時 2月16日(水)19:00～
- 場所 健康センター2階大会議室
- 内容
講話「管内の交通事故について」
講師 白石警察署員(予定)
- 申し込み・問い合わせ先
白石地区交通安全協会白石支部
事務局(生活環境課内)
☎22-1314・☎22-1316

(財)白石市文化体育振興財団 嘱託職員募集

- 採用人員 若干名
- 勤務内容 財団管理施設の維持管
理・清掃・案内
- 応募資格 市内在住の満55歳から
64歳までの健康な方
- 勤務形態 1日7時間45分、隔週
勤務(7日間勤務し、翌7日間は休み)
- 申し込み方法 履歴書を下記まで
提出してください。面接日などは、
申し込み後にご連絡します。詳しく
はお問い合わせください。
- 申込受付期間・時間
2月7日(月)～11日(金)8:30～17:00
※9日(水)の休館日を除く。
- 申し込み・問い合わせ先
同財団事務局(ホワイトキューブ内)
☎22-1290

国際交流員募集

- 採用人員 1人(嘱託職員)
- 雇用期間 4月1日(金)～平成24
年3月31日(土)
- 職務内容 市の国際交流に関する
事務や通訳、語学指導など
- 応募資格(①②ともに白石市在住)
①日本語語学能力検定2級程度の語
学能力のある外国人、②英検2級ま
たはTOEICテスト650点以上の語学
能力のある日本国籍を有する方
- 試験日時 3月15日(火)13:00～
- 種目 論文・面接(英会話を含む)
- 申し込み方法 市販の履歴書1通
を下記まで提出してください(郵送可)。
- 申込受付期間・時間
2月7日(月)～25日(金)
8:30～17:00(土・日・祝日を除く)
- 申し込み・問い合わせ先
総務課 ☎22-1331

「放課後児童クラブ」 4月入館児童募集

- 利用できる児童 保護者の就労な
どにより、昼間、家庭において保護
を受けることのできない、市内の小
学校に通学する児童
- 募集定員
- ・第一児童館および第一小学校放課
後児童クラブ 100人
- ・第二児童館および第二小学校放課
後児童クラブ 100人
- 申し込み方法 2月1日(火)から、
利用申請書などを各児童館で配布し
ます。就業証明書を添えて希望する
児童館に提出してください。
- 申込受付期間・時間
2月14日(月)～21日(月)
9:30～15:00(休館日を除く)
- 利用時間
- ・月曜日から金曜日までの登校日は
授業終了後～18:00
- ・土曜日、臨時休業日、長期の休業
日は8:30～18:00(弁当持参)
- 利用料(月額) 3,000円
- 休館日 日曜日、祝日、12月29日
～1月3日までの年末年始など
- 申し込み・問い合わせ先
- ・第一児童館 ☎25-7070
- ・第二児童館 ☎25-3875

(社福)宮城県身体障害者 福祉協会職員募集

- 身体障害者療護施設「宮城県不忘
園」が4月に移譲されることに伴い、
各種職員を募集します。
- 職種および採用予定人員
- ・看護職員：正職員2人、パート1人
- ・介護職員：パート若干名
- 勤務場所
白石市大鷹沢大町字若林131
- 受験資格 ①看護職員は准看護師
可。②介護職員は免許を必須条件と
はしないが、ホームヘルパー2級以
上を取得していることが望ましい。
- ③普通自動車免許を有する方。④3
月より研修参加可能な方。
- 採用予定日 平成23年4月1日
- 申し込み方法 市販の履歴書(写
真要)、各資格取得証明書・運転免
許証の写し、新卒者は卒業見込み証
明書と成績証明書を添付して郵送で
お申し込みください。
- 申込締め切り日 2月18日(金)
- 申し込み・問い合わせ先
〒989-0212 白石市大鷹沢大町字若
林131 宮城県不忘園内 移譲準備
室(担当：三浦) ☎25-3518

白石キャピタルオペレーション 基金助成対象事業募集

- 募集期間 2月1日(火)～28日(月)
- 対象事業 4月1日から9月30日
までに実施予定の次に該当する事業
①歴史文化研究伝承事業、②青少年
交流事業、③スポーツ交流事業、④
情報化推進事業、⑤そのほか、趣旨
に沿う事業(②③は対外交流や市全
体の交流を主としたものに限りま
す)
- 申請資格 原則として市内に居住
し、文化・スポーツ・情報化推進活
動を行っている個人または団体
- 助成金額 事業に要した経費(自
己負担分)の2分の1以内を限度と
します。ほかに市からの補助金など
を受けている事業は該当しません。
- 申し込み・問い合わせ先
白石市文化体育振興財団事務局
(ホワイトキューブ内) ☎22-1290
(水・土・日曜日を除く)
- ※申請用紙は、事務局にあります。
詳しくは、お問い合わせください。

足で踏み体をほぐすマッサージ 教室(ピーエ)参加者募集

- 自分の足の裏を(足裏ツボ刺激)
ほぐしながら、相手の方をほぐすマ
ッサージ技法です(女性限定)。
- 日時 2月18日(金)・19日(土)
- ・午前の教室：10:00～12:00
- ・午後の教室：13:30～15:30
- 場所 中央公民館
- 講師 佐藤由紀絵、横山由美
中嶋みゆき
- 参加費 100円(ドリンク付き)
- 持ち物 バスタオル、フェイスタ
オル各1枚
- 定員 各12人(申し込み順)
- 申し込み・問い合わせ先
佐藤 ☎090-7061-5307

極真館白石道場 生徒募集

- 体力づくり、型、組手など、空手
を通して体を動かす楽しさを味わっ
てみませんか。一人一人の体力や運
動能力に応じて指導を行っています。
- 見学・体験にお越しください。
- 日時 毎週火・金曜日、19:00～20:30
- 場所 白石中学校武道場
- 会費(月額) 少年部(5歳から小
学6年生)2,500円、一般部(中学1年
生以上、壮年・女性を含む)3,500円
- 責任者 鎌田 喜全
- 申し込み・問い合わせ先
鎌田 ☎25-6454

グループホーム 女性世話人募集

- 知的に障がいのある女性のグルー
プホームです。詳しくはお問い合わせ
ください。
- 勤務形態・採用人員
- ①通い型世話人(月～土曜日専門)
2人、1日5時間
(6:00～8:00・17:00～20:00)
- ②通い型世話人(日曜日・祝日専門)
1人、1日5時間
(6:30～8:30・17:00～20:00)
- ③宿直型世話人 2人、19:45～7:15
(22:00～6:00 まで仮眠)
- 申し込み・問い合わせ先
社会福祉法人白石陽光園 地域援助
センターボレボレ ☎26-1152

白石青果商業協同組合事務所・ 倉庫の定期利用者を募集します



- 市有地を借りて事業していた白石
青果商業協同組合(国道4号沿い、旧
白石市地方卸売市場脇)の閉鎖に伴
い、この建物の利用者を募集します。
- 所在地 白石市福岡長袋字八斗蒔18-2
- 建物用途 事務所・倉庫(店舗)
- 建物面積 104.13㎡(31.5坪)
- 建物構造 木造亜鉛メッキ鋼板葺
平屋建(昭和54年3月建築)
- 設備 上下水道・電気・LPGガス
- 土地所有者 白石市(財政課)
- ※利用する際に契約が必要です。
- 建物所有者 白石青果商業協同組合
- 貸付料(平成22年度)
土地貸付料月額 20,350円
- その他 利用に際して法人・個人
は問いませんが、住宅用利用や公の
秩序、善良の風俗に反する団体や活
動はご利用できません。
- 申し込み・問い合わせ先
白石青果商業協同組合清算人
前理事長 村上 ☎090-8256-7783

県有地(宅地)の売り払い

- 売り払い方法 一般競争入札
- 入札物件 白石市福岡長袋字天王
77-3(宅地270.96㎡)
- 入札日 3月16日(水)
- 申込受付期間
2月1日(火)～28日(月)
- 入札場所 県庁内会議室
- 申し込み・問い合わせ先
宮城県総務部財産利用推進室
☎022-211-2353
- http://www.pref.miyagi.jp/kanzai/

毎月第3日曜日は「家庭の日」。
家族みんなで過ごしましょう!
今月は2月20日。

お知らせします

紙上からお礼申し上げます

生活基盤の整備や福祉事業などのため、次の方々からご寄付をいただきました。紙上からお礼申し上げます（敬称略）。佐藤昭、大岡啓治、宿久修、昭和26・27年会 会長 木村孝、渡部明子、石戸谷崇、岩松正記、森繁人、松田恭治、石井規、佐藤安子

申告相談の際は確定申告用紙を持参してください

2月4日(金)から3月15日(火)まで、市・県民税の申告相談を実施します。税務署から送付された確定申告用紙をお持ちの方は、忘れずに持参してください。特に、所得税の予定納税をした方は、必ず持参してください。

※税務署から送付された用紙がない場合、予定納税額が確認できないため、市では申告できません。

■確定申告書を作成する方へ

確定申告書を作成する方は、提出する確定申告書に源泉徴収票(原本)を添付することになります。源泉徴収票のコピーが必要な方は、あらかじめ用意してください。

☎税務課 ☎22-1313

3月1日(火)から7日(月)まで春の火災予防運動を実施します

～『消したかな』あなたを守る合言葉～
(全国統一防火標語)

火災が起きてしまうと、皆さまの大切なものや思い出、生命までも奪ってしまいます。そんな火災をなくすため、『1年365日火災予防』という気持ちを忘れずに、火災のない白石市を目指しましょう。

■悪質訪問販売にご注意を！

消火器や住宅用火災警報器など、消防職員などを装い高額な価格で販売する訪問販売業者が増えています。「おかしい」「怪しい」と思ったら、「買いません」とはっきり断り、消防署にご連絡ください。

☎白石消防署 ☎25-2259

地上デジタル放送視聴のための支援が拡大されました

総務省では、経済的な理由で地上デジタル放送を視聴できない、低所得の世帯に対して支援を行っています。今回、新たな支援の対象となる世帯や支援内容は次の通りです。

●支援の対象 世帯全員が市町村民税非課税の措置を受けている世帯
※NHKとの放送受信契約が必要です。

●支援の内容 地上デジタル放送対応の簡易なチューナー（1台）を無償給付します。また、チューナーの設置方法や操作方法を電話でサポートします（チューナーの訪問設置、アンテナ改修などは行いません）。

●申し込み方法 申込書に必要事項を記入し、必要書類を添付して総務省地デジチューナー支援実施センターへ送付してください。申込書は、インターネットや電話で同センターからお取り寄せください（税務課窓口にも置いてあります）。

☎同センター ☎0570-023724

原付きバイク・軽自動車などの廃車・名義変更手続きは3月中に

原付きバイクや農耕作業車、軽自動車などは、4月1日現在で登録されている方に1年分の軽自動車税が課税されます（※）。現在使用していない軽自動車などは、3月末までに廃車・名義変更の手続きを済ませると、平成23年度以降は税金がかかりませんので、忘れずに手続きをしてください。なお、3月になると軽自動車の各種変更手続きなどで窓口が大変混雑します。できるだけ早い時期に手続きをお済ませください。※軽自動車税は、月割りで課税されたり、還付されたりすることはありません。

●車種別の手続き先

- ・原付きバイクや農耕作業車など 税務課 ☎22-1313
- ・軽四輪・軽二輪など 軽自動車検査協会宮城主管事務所 ☎022-284-1368
- ・二輪小型自動車 東北運輸局宮城運輸支局 ☎050-5540-2011

市民課・税務課・収納管理室・健康推進課の窓口時間を延長します

●18時までの時間延長期間

3月23日(水)～25日(金)
28日(月)～30日(水)

●休日窓口開設日時

3月27日(日)、4月3日(日)
9:00～16:00

※納税窓口は上記のほか、3月25日(金)・28日(月)の2日間、20時までご利用いただけます。

●窓口取り扱い内容

住民異動届（転入・転出・転居など）、国民年金・国民健康保険などの手続き、住民票・戸籍謄抄本・印鑑証明などの交付、所得証明などの交付、納税相談など。

※内容によっては取り扱いできないものもありますので、事前にお問い合わせください。窓口で本人確認を行いますので、運転免許証や保険証などをお持ちください。

☎市民課 ☎22-1312

税務課・収納管理室 ☎22-1313

健康推進課 ☎22-1362

使用済みインクカートリッジを回収しています

年賀状作成などで使用したインクカートリッジを「もやせるごみ」として出していませんか？

白石郵便局では、資源として再利用するため「インクカートリッジ里帰りプロジェクト」に協力し、回収箱を設置しています。市役所にも設置していますので、ご家庭で使い終わったインクカートリッジの回収にご協力をお願いします。

☎白石郵便局 ☎25-2745

生活環境課 ☎22-1314

公立刈田総合病院健診センターをご利用ください

公立刈田総合病院健診センターでは、人間ドックや各種検診（最新型MRI装置による脳血管の画像診断など）を取り扱っています。

就職する方の雇用時健康診断も随時行っていますので、気軽にお問い合わせください。

☎同院健診センター(直通) ☎25-2178

国民年金の納付は、割引のある口座振替がおすすめです

口座振替は納め忘れの心配がなく、納めに行く手間が省けます。また、早割を利用すると月50円（年間600円）の割引を受けられるほか、1年分や半年分をまとめて払うと、納付書での納付よりも多く割引を受けることができます。

●口座振替の前納割引額

①一年前納 3,800円

②半年前納 1,030円（年額2,060円）

※金額は平成22年度のものです。4月からの前納を希望される方は、2月末までにお申し込みください。

●申し込み方法 年金手帳、預貯金通帳とその届出印を持参の上、市民課・年金事務所・金融機関の窓口でお申し込みください。

■年金額を増やしたい方へ

付加年金制度をご利用ください

国民年金には、毎月の保険料に400円をプラスすることで、将来受け取る年金に付加年金（年額＝200円×支払った月数）が加算される制度があります。また、付加年金の受取金額は一生変わらないため、3年目からは受取金額が支払った金額以上になります。

※国民年金基金に加入している方や保険料の免除を受けている方は、付加保険料を納めることはできません。

■年金受給者の方へ「源泉徴収票」をお送りしています

確定申告の際に必要な「公的年金等の源泉徴収票」を、1月中旬に日本年金機構から郵送しています。

厚生年金や国民年金などの公的年金は、所得税法上、「雑所得」として課税の対象になります。

源泉徴収票が届かない、紛失したときなどは再発行できますので、年金事務所にお問い合わせください。

なお、障害年金や遺族年金は課税の対象となっていないため、源泉徴収票は送付されません。

☎大河原年金事務所 ☎0224-51-3113

市民課 ☎22-1312

市・県民税の申告相談は2月4日(金)から3月15日(火)までです。
忘れずに申告しましょう！

自動車の不具合情報をお寄せください

国土交通省では、迅速なリコールの実施やリコール隠し防止のため、車の不具合情報を収集しています。皆さまの車に不具合が発生した際には、情報をお寄せください。

☎自動車不具合情報ホットライン

☎0120-744-960（平日・日中）

自動音声 ☎03-3580-4434

（年中無休・24時間）

www.mlit.go.jp/RJ/

開催します

女性医師による女性の健康相談

思春期や更年期の身体的・精神的不調、家庭や職場でのストレスなどに悩む女性の方を対象に、女性医師が無料で相談に応じます。相談内容の秘密は厳守しますので、気軽にご相談ください（完全予約制）。

●日時 2月19日(土)14:00～17:00

●場所 大河原町内。会場は、予約時にお知らせします。

●予約先 宮城県女医会女性の健康相談室 ☎090-5840-1993

●予約受付時間 平日の9:00～17:00

☎宮城県健康推進課 ☎022-211-2623

宮城県沖地震の救護対策を考える

DMATをご存じですか？ DMATとは、災害急性期に機動性を持って活動できるようにトレーニングを受けた「医療チーム」のことです。多くの災害派遣の経験を持つ講師から話を伺います。ぜひお越しください。

●日時 3月9日(水) 18:30～20:00
(18:00～受け付け)

●場所 しんきんホール
(仙南信用金庫3階)

●講師 日本赤十字社宮城県支部
参事 菅原 清悦 氏

●主催 仙南地域医療対策委員会
白石刈田支部委員会 救急災害部会
☎健康推進課 ☎22-1362

認知症高齢者家族のつどい

介護しているの悩みや苦勞をみんなで話し合っています。

●日時 2月15日(火)13:30～

●場所 介護予防センター

●内容 座談会

●参加費 100円（資料代など）

●申し込み・問い合わせ先

介護老人保健施設 清風 ☎22-2110

地域包括支援センター ☎22-1361

えんげ 摂食嚥下機能障害を考える

～最期までおいしく食べたい方のために～

摂食嚥下機能障害は、誰にでも起こり得る病気です。人生の楽しみである「食べること」を失わないためには、早めの対策が必要です。関心のある方は、どなたでもお越しください。

●日時 3月4日(金)18:00～20:00

(17:30～受け付け)

●場所 しんきんホール
(仙南信用金庫3階)

●講師 日本歯科大学附属病院 口腔介護・リハビリテーションセンター 田村 文登 准教授

●主催 仙南地域医療対策委員会
白石刈田支部委員会 歯科部会

☎健康推進課 ☎22-1362

税理士記念日 無料税務相談会

小規模事業者のための相談会です。

●日時 2月23日(水)10:00～15:00

●場所 各税理士事務所

●内容 ①所得税の確定申告相談、②確定申告の作成指導、③消費税などの税務相談

※2月22日(火)まで事務局にご連絡ください。

●主催 東北税理士会大河原支部
☎高橋正衛税理士事務所 ☎26-1618

市議会2月定例会を開催します

議会を傍聴してみませんか。詳しい日程などはお問い合わせください。

●日時 2月14日(月)10:00開会予定

●場所 市役所5階議場

☎議会事務局 ☎22-1351



▲スパッシュランドで学生を指導する鈴木大地さん

指導は難しいです。辛抱と忍耐です。もどかしい部分もたくさんあります。

指導者として

僕は小さいころ体が弱くて、体を強くするために水泳を始めました。泳げないのに入会の目的に「オリンピック選手になりたい」と書いて、非現実的だとはかにされましたけど。当時は、オリンピックでメダルを取れるとは思っていませんでした。僕は水泳に向いていたのかなとは思いますが、ある程度適性があったとことん毎日やれば、そこそこはいきますよね。ただ、オリンピックとなると「死

心が育ってこそ、体が育つ——そして、「夢」が一番の力になる——



Daichi Suzuki
鈴木 大地さん

— profile —

すずき だいち：1967（昭和42）年生まれ。近所にスイミングスクールができたことがきっかけで、7歳から水泳を始める。高校時代から背泳を専門にし、1988（昭和63）年ソウルオリンピック100^{メートル}背泳金メダル。現在、母校である順天堂大学の准教授としてスポーツ医科学の研究に組みながら、同大水泳部監督、日本オリンピック委員会委員、日本水泳連盟理事などを務める。また、青少年の育成として千葉県習志野市の教育委員も務める。

取材を終えて

インタビューの中で鈴木さんは、「ここは良い施設。温泉も近いので、周りと協力していろいろな使い方ができるのではないだろうか」と話してくれました。「こうなりたい」という明確なビジョンが、人も施設も成長するために重要なものかもしれません。そして、スポーツに限らず人生には「情熱」が大切であること。「情熱」を持ってこそ無限の可能性が生まれるということ、あらためて感じました。

第30回公民館まつり

2011.3.4(Fri)-3.6(Sun)
The 30th Community Center Festival

公民館まつりは、公民館で生涯学習に取り組む人たちの祭典として、1年間の成果を発表・展示するものです。お誘い合わせの上、ぜひご来場ください。

- 期間 3月4日(金)～6日(日)
- 場所 中央公民館（入場無料）
- 主催 教育委員会・中央公民館
- ☎中央公民館 ☎26-2453・22-1343

※サイエンスショーと文化講演会の入場には、整理券が必要です。整理券を中央公民館、各地区公民館、あしたば白石、図書館、市民課などで2月初旬から配布します。

らんま先生の実験！
eco サイエンスショー



オリジナルの教材を使いながら、「環境」をテーマに皆さんと一緒に実験をします。
●日時 3月5日(土)
10:00～11:30
●場所 大ホール

文化講演会
「であい ふれあい ひびきあい」

～のど自慢12年の旅から～

- 講師 元NHKアナウンサー
みやがわ やすお 宮川 泰夫さん
- 日時 3月5日(土)
14:00～15:30
- 場所 大ホール



スポーツ&レクリエーション【参加無料】
3月4日(金) 13:00～15:00 大ホール

- ①体力測定ーからだ年齢いくつか？ー
- ②ニュースポーツ体験（シャフルボード、囲碁ボールほか）
- 持参する物 運動靴（服装は軽装で）
- ※参加を希望される方は、直接、会場にお越しください。

次期選挙から 投票日当日の投票時間が変わります

午前7時から 午後7時まで

（福岡第2・第6・第7・第8・第10、小原第1・第6投票所は午後5時まで）

次期選挙から、投票日当日の投票終了時刻が1時間繰り上がり、午後7時までとなります（上記投票所は午後5時まで）。お間違えのないようにご注意ください。
なお、期日前投票は、従来通り午前8時30分から午後8時までです。仕事や旅行などのため投票日当日に投票できない方はご利用ください。

- 宮城県議会議員選挙期日前投票
期間：4月2日(土)～9日(土)
時間：午前8時30分～午後8時
場所：市役所2階第2会議室
- 白石市議会議員選挙期日前投票
期間：4月18日(月)～23日(土)
時間：午前8時30分～午後8時
場所：市役所2階第2会議室

展示の部

展示期間 3月4日(金) 13:00～17:00
3月5日(土) 9:00～17:00
3月6日(日) 9:00～16:00

場 所	展示内容（参加団体）
図書室	川柳（白柳会）、俳句（蔵王俳句会）、陶芸（東北クラブ）
調理実習室（6日のみ）	試食提供（ヘルスメイト白石）
事務室前ロビー	絵画（白美会）、お菓子など（白石友の会）
大ホールロビー	パネル展示（白石ユネスコ協会、白石しらゆり会、白峰会）、催し（ジュニアリーダーキャロル）、即売（やまぶき会、白石うぐいす会）
視聴覚室	陶芸（木釉会、陶好和会、陶芸講座、陶人会）、押し花（押し花教室花あそび）、草木染（サークル四季彩、草木染愛好会）
第2研修室	手芸（白石ボランティア友の会、パンフラワー教室、パッチブレンド）、革手工芸（白石地域婦人会レザークラフト）
講座室	書道（秀篁会、白友会、白城会、白石うぐいす会）、毛筆細字（毛筆細字講座）、墨絵（墨絵サークル）、俳画（中央俳画サークル）

発表の部

3月6日(日)9:30～16:00 大ホール

発表内容	参加団体
コーラス	コールリバー、童謡講座
舞踊	宝梅会、白石市地域婦人会、舞の会、清蘭会
歌・民謡・尺八	藤坂歌謡倶楽部、歌謡研究倶楽部、文化歌謡教室、スワン郷の会、みちのく歌謡会、東北郷土民謡青謡会、宮城竹友会白石支会
琴・詩吟	琴名流大正琴白石教室、さくら会、宮城岳風会
エアロビクス	キッズジュニアエアロビックスサークル
体操	3B体操愛好会、3B体操夜間サークル
バレエ	本田・佐藤モダンバレエ研究所
ダンス・ギター	グリーンローズフラの会、ラブリーフラ、かのん
手話ソング・ダンスなど	白石市地域婦人会、白石しらゆり会、ちゃれんじど

販売の部

開催期間 3月4日(金)～6日(日)

場 所	内 容
視聴覚室	陶芸・押し花の即売 5日(土)10:00～
第2研修室	レザー・パッチワーク・パンフラワー作品の即売
事務室前ロビー	ケーキ・お菓子・手芸品などの販売
大ホール前ロビー	なつかしの駄菓子などの販売

※6日(日)9:00～13:00のみ、おにぎり（お茶付き）を即売します。
※販売の収益金は、福祉団体などへ寄付します。昨年は、収益金50,000円を白石うぐいす会に寄付しました。

宮城県議会議員選挙

告示日 4月1日(金)
投票日 4月10日(日)

白石市議会議員選挙

告示日 4月17日(日)
投票日 4月24日(日)

問い合わせ先
選挙管理委員会事務局
☎22-1315

わがまちの会社訪問

おいしいと言っていただけの「生とうふ」造り
白雪とうふ株式会社蔵王工場



かわいい女の子のキャラクターが両手を広げてほほ笑んでいる「なつみちゃん」が目印の「白雪とうふ株式会社（小久保嘉郎社長）」。2歳の女の子が、豆腐をおいしそうに食べているテレビCMをみて、「子どもが明るく元気に育ってほしい」と豆腐を買い求めた方も多いのではないのでしょうか。

同社は、大正5年仙台市にて開業。昭和22年株式会社小久保商店として営業を拡大し、平成3年に現在の商号に変更されました。そして、平成17年蔵王生とうふ工場、平成21年蔵王あぶらあげ工場が本市に完成し、現在、同工場の豆腐や油揚げの製造能力は本社工場を上回っています。「生とうふ」に込めた思いなどを、総務課長である岩城敬一さんに伺いました。

●「生とうふ」へのこだわり！

豆腐の原材料は大豆ですが、大豆は「畑の肉」と言われるほど良質のたんぱく質に富んでいます。また、大豆に含まれる脂肪にはコレステロールを下げる不飽和脂肪酸が多く、さらに血管の硬化を防ぐレシチンも多く含まれています。そして、老化防止作用があるといわれるビタミンEやサポニンも含まれていますので、消化吸収も良く、胃腸に負担をかけない、低カロリー、高たんぱくな健康食品です。豆腐は大豆たんぱくを熱変性させて造る食品ですが、豆腐を煮込むとすが立ってしまい、風味が落ちることでお分かりのように、加熱の量がおしさを大きく左右します。殺菌などの目的で再加熱することは、低温・高温を問わず、風味や弾力（食感）、栄養分



▲蔵王工場の外観

に悪影響を及ぼし、最終的においしさを損ないます。

豆腐が一番おいしいのは造りたて。その造りたてを衛生的にそのままパックしたのが、当社の「生とうふ」です。

当社の「生とうふ」の消費期限は製造日も含めて5日で、日持ちさせることはしていません。それはなぜかと言うと味が落ちるからです。手間ひまをかけても、造りたてのおいしい「生とうふ」を製造することにこだわりを持っています。

これからもおいしいと言っていただけの「生とうふ」を、こだわりをもって造っていききたいと思います。

●もめんときぬの違いは？

もめんは、型箱に布を敷いて、そこに凝固させた豆腐を盛り付け、上から圧力をかけて水分を抜き、あく抜きしたもの。きぬは、豆乳を型箱の中に凝固させて、あく抜きをしたものです。

もめんは、マーボー豆腐や鍋物に！ きぬは、冷ややっこやすまし汁などにお勧めです！

●耳より情報！

蔵王工場隣の売店では、「生とうふ」や「絹あげ」、「田舎あぶらあげ」などの規格外品を格安で販売しています。

ぜひ、お買い求めください。

●お勧め商品！



▲一押しは「生とうふ蔵王きぬ」と「生とうふ蔵王もめん」！



▲常連さんとも顔なじみ

■蔵王工場データ

- 竣工 平成17（2005）年10月
- 従業員 60人
- 主な商品 生とうふ、絹あげ、田舎あぶらあげなど
- 住所 白石市福岡長袋字沖118-1 ☎24-2541

2月の定例相談

相談種別	日 時		会 場	電 話
人権擁護	2月15日（火）	10:00～15:00	市庁舎2階 第2会議室	生活環境課 ☎22-1314
行 政	2月15日（火）	10:00～15:00	市庁舎2階 第2会議室	生活環境課 ☎22-1314
無料法律	2月15日（火）	10:00～15:00	市庁舎3階 第3会議室	生活環境課 ☎22-1314
農 家	2月10日（木）	10:00～12:00	農林振興センター	農業委員会 ☎22-1256
精神保健福祉	2月 1日（火）	9:30～12:00	健康センター（要予約）	健康推進課 ☎22-1362
もの忘れ	2月23日（水）	13:00～15:00	健康センター（要予約）	健康推進課 ☎22-1362
障 害 者	2月9日（水）・23日（水）	13:00～15:00	福祉プラザやまぶき	福祉事務所 ☎22-1400
補聴器巡回サービス	（リオン） 2月10日（木）・23日（水） （ワイデックス） 2月22日（火）	13:00～14:00	市庁舎1階 東側和室	福祉事務所 ☎22-1400

Monthly Consultation

市内イベント掲示板

（2月5日～3月5日）〈🌸 =花火打ち上げ〉

開催日	時間	イベント名	場所	有・無料	問い合わせ先	備考
～3月 3日（木）	9:00～16:00	雛の宴展	弥治郎こけし村	入村無料	弥治郎こけし村 ☎26-3993	17ページ掲載
2月 6日（日）	9:00開会（8:30集合）	第20回市民綱引き大会	ホワイトキューブアリーナ	有料（申し込みは締め切りました）	生涯学習課 ☎22-1343	
2月 6日（日）	10:00～15:00	碧水園茶会	碧水園	お茶券500円	碧水園 ☎25-7949	18ページ掲載
2月 9日（水）・23日（水）	8:30～14:00	スノーウォッチング（冬の雪山ハイキング）	みやぎ蔵王白石スキー場 ☞不忘山	参加費3,500円	みやぎ蔵王白石スキー場 ☎24-8111	16・30ページ掲載
2月20日（日）	10:00競技開始（8:30受付）	第10回アザレア杯スキー技術選手権大会	みやぎ蔵王白石スキー場	参加費2,000円（定員100人）	みやぎ蔵王白石スキー場 ☎24-8111	16ページ掲載
2月20日（日）	13:00～14:00	第18回白石市生涯学習フェスティバル事業 ベガルタ仙台サッカー教室 第1部「ルール教室」 対象：市内小学生と保護者	ホワイトキューブアリーナ	無料 定員50人 （各小学校に配布したチラシで当日申し込みください）	生涯学習課 ☎22-1343	
	14:00～16:00	第18回白石市生涯学習フェスティバル事業 ベガルタ仙台サッカー教室 第2部「サッカー教室」 対象：市内小学生		無料 定員100人 （各小学校に配布したチラシで当日申し込みください）		
2月27日（日）	13:30開演（13:00開場）	ひなまつりコンサート	壽丸屋敷	入場無料	白石まちづくり（株） ☎25-6054	25ページ掲載
3月 5日（土）	10:00開演（9:00開場）	第18回白石市生涯学習フェスティバル事業 「らんま先生の実験！ecoサイエンスショー」	中央公民館大ホール	入場無料 （整理券必要。各公民館などでお受け取りください）	生涯学習課 ☎22-1343	28ページ掲載
	14:00開演（13:00開場）	第18回白石市生涯学習フェスティバル事業 「文化講演会」				

イベントニュース

冬の雪山ハイキング「スノーウォッチング」を開催します！

2月9日（水）と23日（水）の8時30分から14時まで、みやぎ蔵王白石スキー場から不忘山において、「スノーウォッチング」を開催します。

近年、ウィンタースポーツの世界では、オフピステ（林間散策や冬山登山）への関心が高まっています。今回は、老若男女、スキー・スノーボードの経験の有無にかかわらず、より美しい自然・より新しいスポーツとの出会いを求めるお客さまと一緒に、冬の雪山ハイキングを満喫していただく企画しました。スノーシューや輪かんじきを履いて雪を踏み込む足音を聞きながら、風や冷気の作り出す雪の造形を楽しみませんか。

参加料は3,500円で、ガイド代のほか、下山後のティータイムセット（コーヒー＋ケーキ）と鎌先温泉の日帰

り入浴券を含みます。凍てついた肌をふんわりほぐしてお帰りください。

📍みやぎ蔵王白石スキー場 ☎24-8111



▲不忘山山頂での写真。雪山の景色が堪能できます

News

チビッコ美術館

「五色沼」



わが家のアイドル

ママからひとこと
素直で
元気な子に育ててね

パパからひとこと
元気に大きく育ってね❤️



おおは
大庭
とじや
迅裕
くん

いお
塾さん、
みゆき
美幸さんご夫婦の長男（松ヶ丘

●いじめ相談（アイライン）

Eメール i-line@city.shiroishi.miyagi.jp 【24時間受け付け】
※電話相談も実施しています（毎週月～金 8:30～16:30）。
いじめ問題等対策室（教育委員会内） ☎22-1350

●家庭児童相談

毎週月～金 8:30～16:00
総合福祉センター ☎22-1400

●**高齢者総合相談（事前連絡必要）**

①地域包括支援センター（総合福祉センター内）
☎22-1361（長寿課兼用回線）

②在宅介護支援センター茶園 ☎25-9955

③在宅介護支援センター八宮 ☎24-5222

●青少年相談

毎週月・火・木・金 8:30～16:30
市庁舎4階 青少年相談センター ☎22-1342 (内線445)

●消費生活相談

消費生活相談室（いきいきプラザ内） ☎22-0783

●DV・セクハラ相談（事前連絡必要）

毎週月・水・金 9:00～17:00
男女共同参画相談支援センター（ふれあいプラザ内）
※電話相談も実施しています。 ☎22-6035

※今月の定例相談は、31ページに掲載しています。

「しろいし安心メール」の登録方法

「shiro-i@posh.jp」あてに空メールを送信して、案内に従ってご登録ください。

二次元バーコード対応携帯電話をお持ちの方は、右のバーコードをご利用ください。



今年1年の無火災、無災害を目指して! ～平成23年白石市消防出初式～

1月10日、お正月の恒例行事「平成23年白石市消防出初式」をホワイトキューブで開催しました。消防団員の皆さんが点検作業など日ごろの訓練の成果を披露したほか、本年度10周年を迎える白石市消防団階子^{はしご}乗り隊が「階子乗り」を披露。また、ひかり幼稚園幼年消防クラブの子どもたちが「防火の誓い」を元気に行いました。

風間市長は「消防団は市民の皆さんに勇気を与える。今後も自主防災組織などと連携して安全・安心の確保に努めてほしい」とあいさつ。跡部敏団長も「あらゆる災害に対応できるよう、一丸となって頑張ります」と力強く訓辞を述べました。この日は600人を超える消防団員のほか、消防ポンプ積載車やはしご車など70台が集結！ 市民の皆さんの安全と安心を守るため団員の士気を高め、平成23年の無火災、無災害を願いました。



★職場をやめたときは、「国民年金」「国民健康保険」の手続きが必要です